

5 平成30年度 事業実績

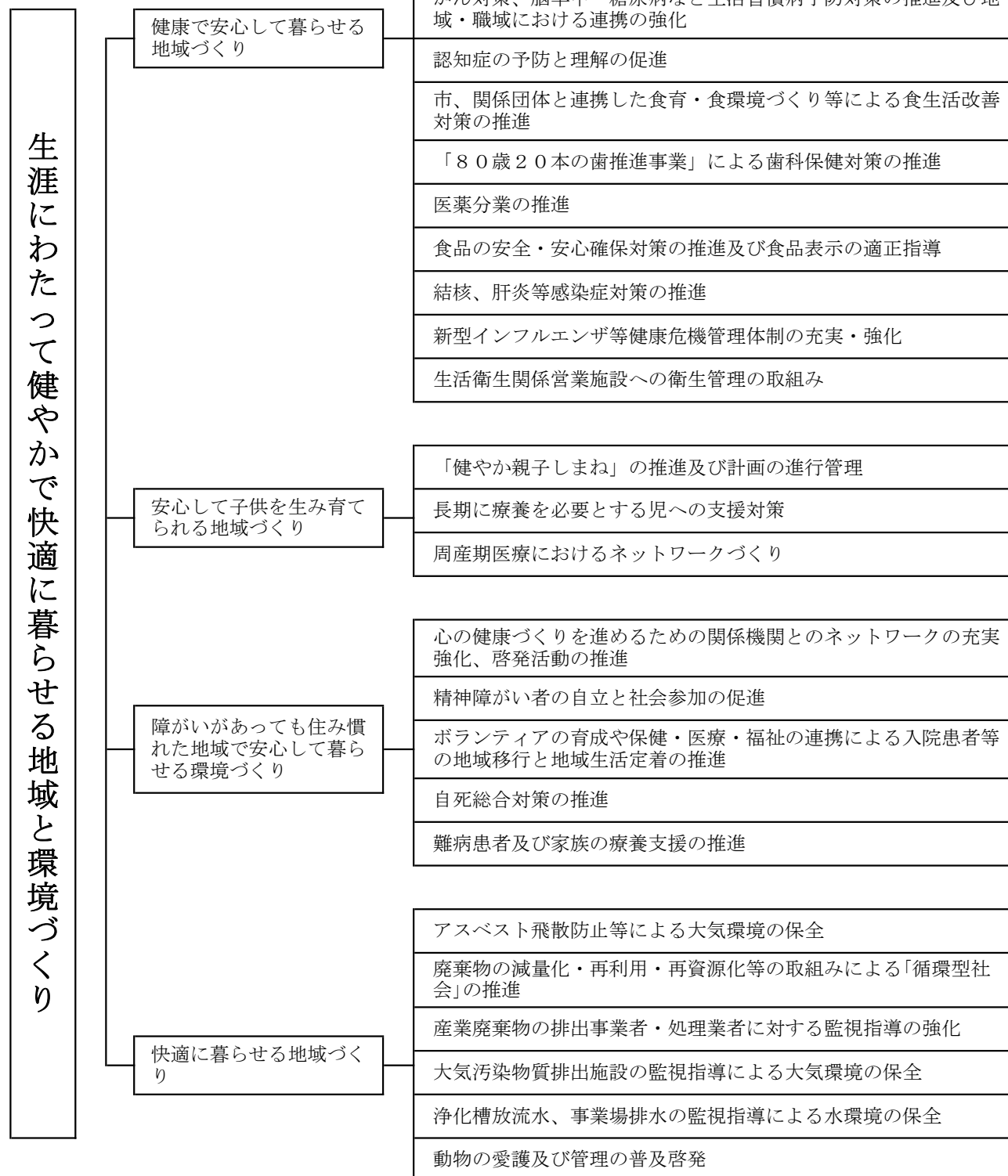
このページは空白です

平成30年度 出雲保健所の重点的な取組

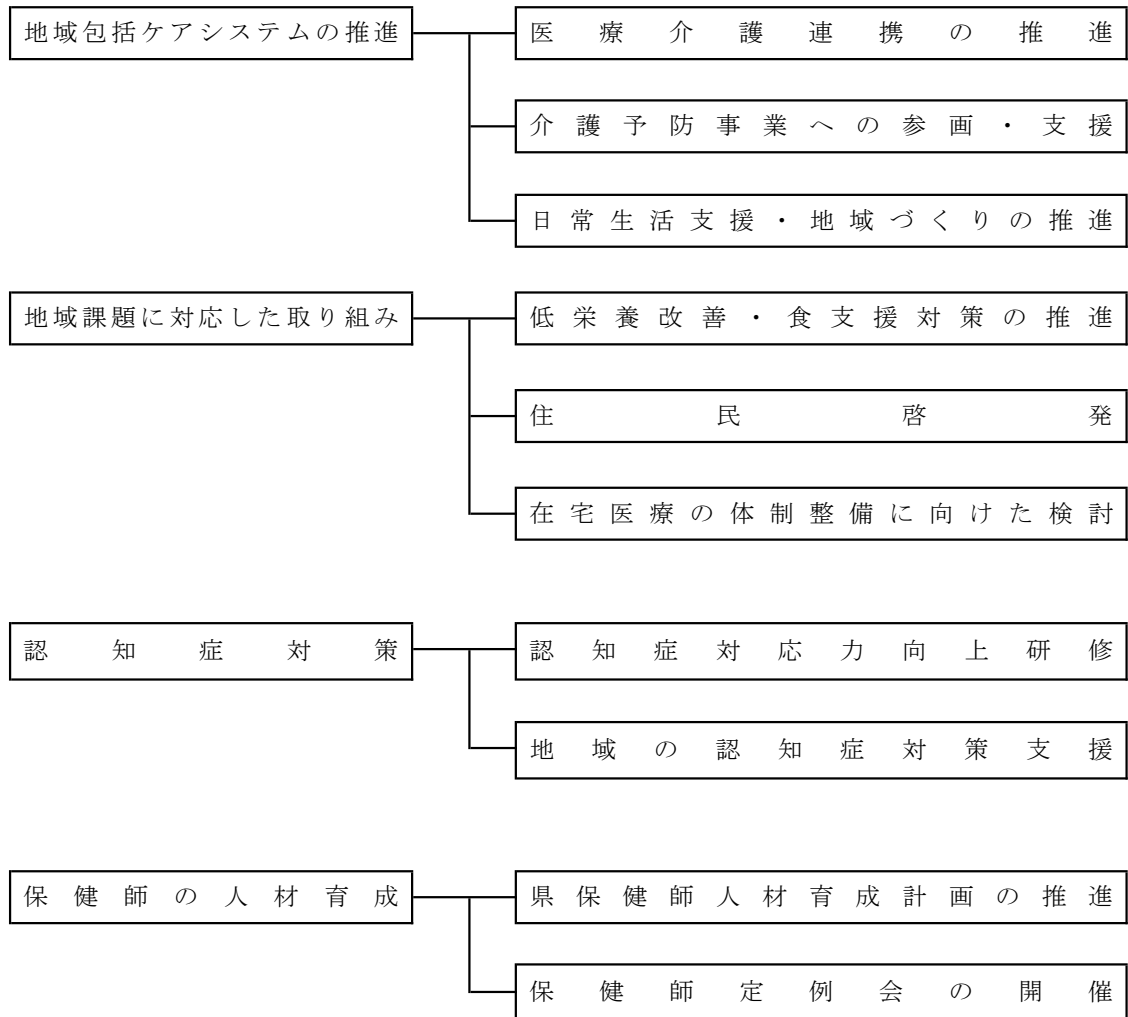
〈基本理念〉

〈重点目標〉

〈具体的な取組〉



地域包括ケア推進スタッフ



地域包括ケア推進スタッフ

関係機関・関係職種との連携のもと、地域包括ケアシステムの構築に資する取り組みを以下のとおりすすめてきた。

1 市における在宅医療介護連携推進事業の円滑な実施に向けた支援

(1) 出雲市医療介護連携推進連絡会議

＜第 1 回＞平成 30 年 7 月 30 日(水)19:00～21:00 く にびき大ホール

各関係機関・団体等の取組報告等

＜第 2 回＞平成 31 年 2 月 4 日(月)19:00～21:00 く にびき大ホール

在宅医療・介護連携推進における課題について各関係機関・団体の取組報告等

(2) 医療介護連携推進のための事例検討会、研修会及び意見交換会への参画

①事例検討会：3 回

②研修会及び意見交換会：

平成 31 年 3 月 18 日(月)19:00～21:00 ラピタウエディングパレス

テーマ「在宅療養を支える多機関・多職種の取組みを知り、連携推進の方策を探る」

情報提供と取組紹介：今後の看取り体制について

グループワーク：穏やかな最期を迎えるために必要なこと

(3) 介護予防関係事業への参画・支援

① 地域リハビリテーション活動支援事業の事業評価支援

検討会 3 回。

②出雲リハケアネット定例会への参加

③地域ケア個別会議へオブザーバー参加

(4) 日常生活支援・地域づくりの推進

①生活支援体制整備協議体定例会に参加 8 回

②生活支援体制整備協議体に委員として参加 2 回

(5) 介護保険運営協議会への出席

介護保険運営協議会に委員として出席 2 回

地域支援部会に委員として出席 2 回

2 地域の課題に応じた新たな取り組みの推進

(1) 出雲圏域低栄養改善・食支援対策（詳細は医事難病支援課にて記載）

(2) 高齢者のポリファーマシー対策（詳細は衛生指導課にて記載）

3 住民啓発

平成 29 年度から圏域全体への啓発を実施。（小さな地区単位には市が座談会を実施）

(1) 地域包括ケアフォーラム

～年をとり誰かの助けが必要になった時、あなたは どうしますか?～

テーマ「住み慣れた地域で療養を続けるために～在宅、ときどき入院・入所」

日時：平成 31 年 3 月 9 日（土）13:30～16:00

場所：大社文化プレイスうらら館

内容：

講演「病院の役割と地域包括ケア」

講師 県立中央病院総合診療科部長 今田敏宏 氏

シンポジウム：「在宅療養を続けている家族を支援する仕組みを理解しよう」

かかりつけ医の立場から 嘉村医院 嘉村正徳氏

介護支援専門員の立場から みどりの郷平田 福田玲子氏

訪問看護師の立場から いなさ園訪問看護ステーション 畑亜紀氏

老人保健施設相談員の立場から 寿生苑 林隆仁氏

ヘルパーの立場から

もっと知ろう地域包括ケア

「地域の支え合い活動を理解しよう」

生活支援コーディネーターの立場から 出雲社会福祉協議会 春日智徳氏

「困った時は相談してみよう」高齢者あんしん支援センターの立場から

大社高齢者あんしん支援センター 糸賀恵美氏

参加者 250 名。参加者のうち約半数が一般住民参加であった。

(2) 在宅医療座談会

保健所参加 3 回

4 在宅医療の体制整備に向けた検討

平田地域の在宅医療推進について、具体的な取り組み及び課題について協議

<参加団体> 出雲市立総合医療センター、出雲市、保健所

<回数> 4 回

5 認知症対策

(1) かかりつけ医の認知症対応力向上に向けた取り組みへの参加

①認知症サポート医連絡会への参画 4 回

②認知症懇話会研修会への参加 2 回

(2) 薬剤師等の認知症対応力向上合同研修（薬剤師会対象）

日時：平成 30 年 10 月 30 日（火）19:30～21:00

場所：出雲保健所大会議室

内容：(1)講話「認知症患者の薬剤管理について」

講師：エスポアール出雲クリニック院長 高橋幸男 氏

(2)事例報告「認知症の方の薬剤管理を適切に行うには

～薬局薬剤師の立場から～」

講師：ファーマシー薬局出雲中央薬剤師 寶大寺淳 氏

(3)意見交換

参加者：医師（9 名） 薬剤師（28 名） 行政（6 名）

- ・処方に関する疑義など医師と薬剤師の連携の必要性について確認した。
- ・かかりつけ薬局を持つこと、お薬手帳を持参することの重要性を確認し、医師会だよりに掲載することとなった。

(3) 認知症対応力向上研修（歯科医師会対象）

日時：平成 30 年 11 月 28 日（水）20:00～21:00

場所：ビッグハート出雲 黒のスタジオ

内容：(1)講話「認知症患者の理解と治療について」

講師：エスポアール出雲クリニック院長 高橋幸男 氏

(2)意見交換

参加者：歯科医師（22 名） 歯科衛生士（3 名） 医師（3 名）行政（4 名）

(4) 出雲市への支援

- ①出雲市認知症高齢者支援強化検討会及び出雲市認知症初期集中支援チーム検討委員会への参加 2 回

6. 地域包括ケア推進所内連絡会の開催（月 1 回）

包括ケア推進に関する取組の進行管理

各課事業の情報交換、検討

7 保健師の人材育成

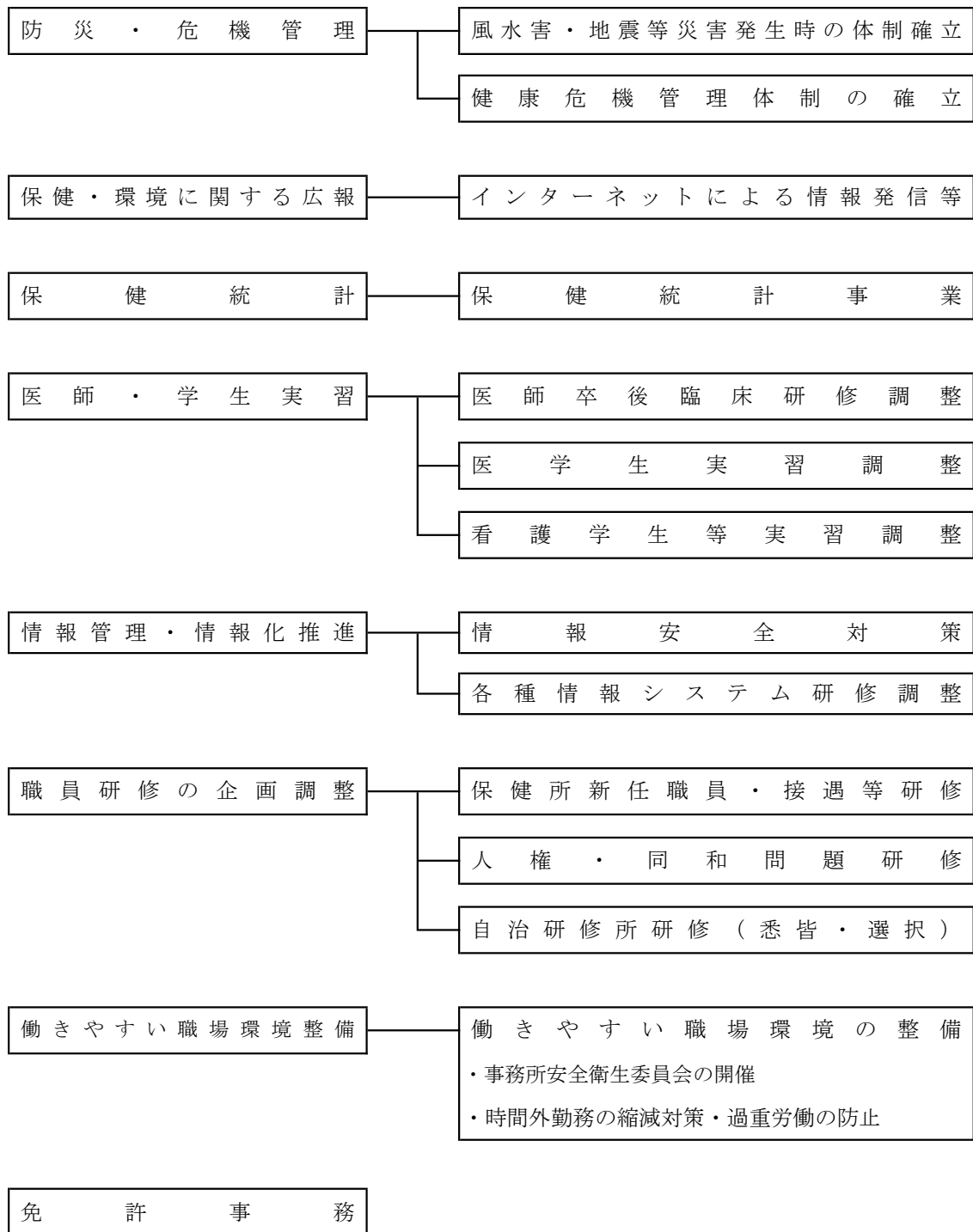
(1) 所内保健師定例会の実施（月 1 回）

各課業務に関する情報交換や事例検討等を通じ、保健師間の連携強化及び資質向上を図ることができた。

(2) 市統括保健師との連絡会 1 回

研修企画等協議を兼ねて実施。

総務課業務



総務課

1 災害等危機管理

震災・風水害・雪害等の災害動員体制を定め災害発生に備えるとともに、出雲圏域における関連会議に出席し、圏域内の危機管理体制の確認するほか、消防訓練を行った。

- (1) 出雲地区防災委員会 平成30年 6月14日 出雲合同庁舎
- (2) 消防訓練 平成30年11月22日 出雲保健所

2 保健・環境に関する広報

一般県民に出雲保健所の業務を広く理解してもらうため、保健・環境に関する情報をホームページで提供した（情報は随時更新）。

また、平成29年度事業実績と平成30年度の事業計画をまとめた「平成30年度すこやかライフ」を発行した。

3 保健統計・調査

(1) 定期報告

- ア 衛生行政報告例（衛生関係）
- イ 地域保健・健康増進事業報告（保健所分）
- ウ 人口動態調査
- エ 病院報告

※ア、イ：年度報、ウ、エ：月報

(2) 隔年調査（平成30年度実施）

- ア 医師、歯科医師及び薬剤師の届出・調査
- イ 保健師、助産師、看護師、准看護師、歯科衛生士及び歯科技工士業務従事者届

4 医師卒後臨床研修

医師卒後臨床研修（初期2年）のうち「地域保健」について、研修協力施設として、研修実施病院から研修医を受入れ、プログラム作成～指導～評価を行った。

保健所業務全般を学ぶとともに、各研修医が設定した課題項目について重点的に学べるように市、地域の医療機関、要支援当事者、保健福祉施設・団体等の協力を得ながら、可能な限り地域に出掛ける実習とした。

◇平成30年度における受入状況は以下のとおり。

研修病院名	人数	受入期間
島根大学医学部附属病院	3	9月、11月
島根県立中央病院	1	9月
計	4	

5 医学生実習

島根大学医学部環境保健医学講座の学生実習を受け入れた。

平成31年2月～3月（2日間） 5名

テーマ「在宅療養支援：病院と地域との連携について」

6 看護学生等実習

学生や関係機関職員に保健所業務を理解してもらうとともに、活動評価の一助とした。
◇平成30年度における受入状況は以下のとおり

実習	養成資格	学校(施設)、学年等	人数	実施期間
地域看護学実習	保健師、看護師	島根大学医学部看護学科4年	4名	6/11～6/15
			5名	7/2～7/6
公衆衛生看護学実習	保健師	島根県立大学看護栄養学部看護学科	4名	10/22～10/26
公衆栄養学実習	管理栄養士	岡山県内養成施設1校	2名	8/22～8/28
		兵庫県内養成施設1校	1名	

〈地域看護学・公衆衛生看護学実習〉

- ・5日間の実習を保健所で受入れ
- ・島根大学については医事・難病支援課、島根県立大学については健康増進課がプログラムの作成、指導総括を担当
- ・個々の学生が学びたい事項を重点的に学べるようプログラムを作成
- ・市指導担当者との連携、補足しあうことでより効果的な内容となるよう工夫

〈公衆栄養学実習〉

- ・健康増進課がプログラム作成、指導総括を担当
- ・関係機関との連携し、事業等に参加することにより保健所の役割を学べるようプログラムを作成

7 研修事業の企画調整

保健所職員としての必要な知識を習得するため各種研修を実施した。

- (1) 保健所新任職員研修 平成30年 4月25日 出雲保健所
(2) 人権・同和問題職場研修 平成30年10月4、5日 出雲保健所
テーマ「障がい者の人権（あいさポーター研修）」

8 働きやすい職場環境整備の推進

事務所安全衛生委員会を開催し審議検討を行ったほか、時間外勤務の縮減に向けた取り組み、職場の厚生計画の実施等をとおして、職員の健康管理を図った。

- (1) 事務所安全衛生委員会 平成30年 6月26日 出雲保健所
平成31年 2月22日 出雲保健所
(2) 定期健康診断・精密検査・特殊業務従事職員健康診断等の受診勧奨
(3) 時間外勤務の縮減対策・過重労働の防止
36協定の締結・勤務時間の割振り変更（試行）・ノー残業デーの取組み
(4) 職場安全衛生点検 平成30年10月25日 出雲保健所
(5) 執務環境の整備
冷暖房の適切な運用・事務用いすの更新・不用品の整理・処分外
(6) 職場の厚生計画 平成30年度中に4回実施 延べ33人参加
(7) 交通安全の指導
出雲地区安全運転・管理講習会 平成30年10月31日 出雲合同庁舎
平成30年11月 1日 出雲合同庁舎

9 免許事務

医師等の医療従事者（薬剤師を除く）に係る免許事務を行った。

免許種別	新規	籍訂正等	合計
医師	56	23	79
歯科医師	1	2	3
保健師	41	33	74
助産師	9	7	16
看護師	141	93	234
診療放射線技師	2	5	7
臨床検査技師	10	3	13
理学療法士	9	8	17
作業療法士	10	8	18
視能訓練士	0	1	1
准看護師	16	17	33
合計	295	200	495

心の健康支援課業務



心の健康支援課

1 精神保健福祉対策の充実に向けた関係機関の連携

(1) 保健医療計画の進行管理

地域における精神保健・医療・福祉に係る諸課題を総合的に検討し、平成29年度に策定した「保健医療計画（出雲圏域編）【H30～H35年度】」の進行管理を行った。

(2) 出雲地域精神保健福祉協議会

地域住民の精神保健福祉に関する知識の啓発に努め、精神的健康の保持増進を図るとともに、精神障がい者の保健と福祉の向上及び円滑な社会復帰に努めることを目的とし、「出雲地域精神保健福祉協議会」を設置し、関係機関と連携の上各施策の推進を図っている。また、専門的な課題に取り組むにあたり「医療の連携と在宅支援に関する部会」「自死予防に関する部会」及び「出雲圏域子どもの心の診療ネットワーク事業」の部会を設置している。なお、「医療の連携と在宅支援に関する部会」は、精神障がい者地域生活移行・地域定着支援圏域会議を兼ねて開催した。

ア 出雲地域精神保健福祉協議会の開催（2回）

日 時	内 容
第1回 平成30年6月28日	1. 報告事項 1) 事業実績および平成30年度事業計画について 2) 島根県保健医療計画（出雲圏域）について 3) 島根県アルコール健康障がい対策推進計画について 2. 協議事項 1) 措置入院者の退院支援について 2) 一般診療科医と精神科医との連携に関する研修について 3. その他 第50回島根県精神保健福祉大会について
第2回 平成31年3月14日	1. 報告事項 1) 平成30年度事業各部会からの事業報告 2) 認知症対応力向上研修会 3) 一般診療科と精神科との連携に関する研修会 4) 島根県保健医療計画（出雲圏域編）の進捗状況について 2. 協議事項 1) 措置患者等の退院の支援について 2) 長期入院患者の退院促進支援について 3. その他 第50回島根県精神保健福祉大会について 5月連休中の救急医療体制

イ 医療の連携と在宅支援に関する部会の開催 (2回)

日 時	内 容
第1回 平成30年7月5日(木) 13:30～16:00	【報告】 平成29年度実績報告 1. 精神障がい者地域生活移行・地域定着支援事業について ①精神障がい者地域生活移行・地域定着支援圏域会議 ②精神障がい者地域生活移行・地域定着支援事業研修会 ③自立支援ボランティア・ピアサポーター活用事業 ④地域関係施設と医療機関関係職員との交流実習 ⑤出雲圏域精神保健包括支援会議 2. 精神障がい者社会適応訓練事業について 【平成30年度計画】 1. 精神障がい者地域生活移行・地域定着支援事業 2. 精神障がい者社会適応訓練事業について 【協議事項】 1. 措置入院患者の退院支援について 2. 精神障害者社会適応訓練事業について 【情報提供】 1. 出雲市精神障がい者退院支援事業(出雲市生活保護事業)について ※出雲市より説明 2. こころの森について
第2回 平成31年2月14日(木) 13:30～16:00	【報告】 1. 精神障がい者地域生活移行・地域定着支援事業について ①精神障がい者地域生活移行・地域定着支援圏域会議 ②精神障がい者地域生活移行・地域定着支援事業研修会 ③自立支援ボランティア・ピアサポーター活用事業 ④地域関係施設と医療機関関係職員との交流実習 ⑤出雲圏域精神保健包括支援会議 ⑥相談支援専門員と介護支援専門員との連携 2. 精神障がい者社会適応訓練事業について 【協議事項】 1. 措置入院患者の退院後支援の現状について 2. 代表者会議(措置入院者の退院後支援)について

ウ 自死総合対策に関する部会(出雲圏域自死総合対策連絡会を兼ね、「出雲市自死対策検討委員会」と同時)の開催(2回) ※6 自死総合対策 参照

2 心の健康づくり

(1) 出雲圏域健康長寿しまね推進会議の「こころの分科会」を中心にした活動展開

ア 構成団体

会 長：ぼたんの会

副会長：出雲ほほえみの会

委 員：出雲商工会議所、ぼたんの会、出雲ほほえみの会、出雲市コミュニティーセンター長
会、島根県断酒新生会、出雲市

イ 心の分科会 開催状況

開 催 日	内 容
第1回 平成30年6月27日	(1) 平成29年度の取り組みについて (2) 平成30年度の取り組みについて ①こころの健康支援事業（案）について ②出前講座について ③イベント・街頭キャンペーンについて (3) その他
第2回 平成31年1月25日	(1) 平成30年度の取り組み・次年度の活動について ①出前講座・広報誌について ②心の健康・認知症に関するアンケートについて ③啓発イベント等について (2) その他 ①思春期のメディア依存対策について ②お酒の困りごと相談チラシについて

(2) 「心の健康づくり取り組み隊」の再募集し、登録16名。

(3) 地域の要望に応じた啓発

ア 心の健康出前講座 (19回開催 受講者総数 723人)

心の健康づくり取り組み隊」等の講師協力により実施

【平成30年度「心の健康出前講座」実施状況一覧】

○事業所 (回数13回、参加者数：452名)

月 日	申し込み機関・場所	テーマ	講 師	参加者数
6月16日	株式会社 フクダ	ストレス対策について (お酒の問題も含めて)	県立こころの 医療センター 小村文明副院長	22
7月13日	島根県林業労働力 確保支援センター	うつ病とストレス対策に ついて	エスポアール 出雲クリニック 高尾由美子氏	26
7月19日	島根県生コンクリート 工業組合	ストレスと適正飲酒	海星病院 矢野喬夫氏	26
7月27日	山陰冷暖株式会社	メンタルヘルスについて	出雲保健所 秋田保健師	60

11月2日	神州電気株式会社	職場におけるメンタルヘルスについて	出雲保健所 口羽保健師	25
12月4日	島根県産業廃棄物協会	働く人のメンタルヘルス	金山千夜子氏	17
12月17日	社会福祉法人やまゆり	ストレス解消のコツ	海星病院 深井晴二氏	13
12月19日	出雲地区老人ホーム 連絡協議会	食生活について 職場におけるメンタルヘルス 適度な運動・ストレッチ	出雲保健所 北廣保健師 口羽保健師	27
1月16日	出雲市保育協議会	職場のメンタルヘルス	海星病院 栗原睦美看護師	50
1月30日	県立中央病院	職場におけるストレス対策	出雲保健所 牧野所長	100
12月7日	松江保護司会連合会	出雲保健所におけるアルコールに依存する方への対応	出雲保健所 吾郷課長	61
2月5日	出雲児童相談所	メンタルヘルス研修	出雲保健所 岡医療専門幹	13
3月25日	西尾自動車株式会社	ストレス解消のコツ	出雲保健所 口羽保健師	12

○地域住民対象（回数：3回、参加者：34名）

月日	申し込み機関・場所	テーマ	講師	参加者数
7月24日	明川サロン	高齢者の心の健康について	金山千夜子氏	10
11月26日	上ゲふれあいサロン	認知症予防・薬の飲み方	島根大学医学部 附属病院 研修医 清水彩華氏 ファーマシィ薬局 くにびき 薬剤師 田中 崇氏	11
11月29日	出雲スポーツ振興21	認知症予防について	海星病院 角森良明氏	14

○思春期（回数：3回、参加者：237名）

月日	申し込み機関・場所	テーマ	講師	参加者数
10月25日	出雲農林高校	思春期の心について	レリーサ 東美奈子氏 若林隆志氏	165

2月28日	平田小学校	思春期の心について	レリーサ 若林隆志氏 レーヴ 富岡大樹氏 ふあっと 富岡孝行氏	56
1月19日	西田小学校	思春期の心について	レリーサ 若林隆志氏 レーヴ 富岡大樹氏 ふあっと 富岡孝行氏	16

イ 出前講座時に実態調査を通じた普及啓発

うつ病に関する〇×クイズ・アンケートの実施 668名

認知症に関する〇×クイズ・アンケートの実施 29名

ウ イベントにおける啓発

出雲圏域健康長寿しまね推進会議構成団体、出雲圏域自死予防対策連絡会構成団体とともに実施

実施日	内 容
平成30年4月28日（土）	出雲ドームdeスポーツ&健康フェスティバル ・睡眠に関するアンケート（392名） ・自記式アンケート（59名） ・アルコールパッチテスト（269名） ・適正飲酒量に関する展示 ・チラシ・グッズの配布
平成30年9月10日（月）	自死予防週間キャンペーン ・チラシ・グッズ配布（683名）
平成30年10月28日（土）	大社地区農業まつり（JAしまね出雲地区本部農業まつり） ・睡眠に関するアンケート（347名） ・自記式アンケート（73名） ・アルコールパッチテスト（158名） ・適正飲酒量に関する展示 ・チラシ・グッズの配布
平成31年3月1日（金）	自死対策強化月間キャンペーン ・チラシ、グッズ配布（426名）

エ 広報誌（心の健康コーナー）による啓発

出雲商工会議所報、JAしまねへ掲載 掲載回数：2回（9月、12月）

掲 載 月	内 容
9月	自死防止
12月	年末年始のお酒の付き合い

オ 第50回精神保健福祉大会

広げよう！ひとの輪 地域の絆 ～みんなが、みんなのためにできること～

日時：平成30年11月13日（火） 場所：ビックハート出雲 参加者：250名

活動発表：当事者の声、支援者の声を座談会風に行った

準備会1回(保健所主催) 実行委員会3回(島精連主催)

準備会で大会の流れを説明、実行委員会で、大会テーマ、記念講演講師を決定

活動発表で、当事者の声、支援者の声が聞けるよう座談会で決定した

3 相談事業

(1) 心の健康相談

・精神科医による心の健康相談 毎月2回(第1・第3水曜日)実施 36件(延べ相談人数44人)

うち、子どもの心の健康相談日を設け、精神科医や心理士による相談を実施 9件(延べ相談人数15人)

・お酒の困りごと相談 毎月1回(第2水曜日)実施 12件(延べ相談人数20人)

(2) 随時個別対応を実施

延べ相談人数	来所相談	訪問	電話
	294人	245人	2342人

(3) 支援会議 延べ47回件 (実人数24人)

4 医療との連携

(1) 医療保護入院関係の届出状況

各種届や報告が期日内に適正に行われるよう病院担当者等を指導した。

【医療保護入院の届出状況】

区分	医療保護入院者の 入院届	医療保護入院者の 退院届	医療保護入院者の 定期病状報告	応急入院届	計
件数	369	357	146	4	876

3月末受理件数

(2) 措置入院

自傷他害のおそれのある精神障がい者が、適切な医療を受けられるよう迅速に対応した。

【措置件数】

区分	申請/通報 届出件数 ①+②+③	診察 不要 ①	診察を受けた者		緊急措置入院の状況			措置 入院者 計② A+C	措置 非該当 計③ B+D
			措置 入院 A	措置 不要 B	緊急措置 入院者数	その後 措置入院 C	その後措置 不要 D		
22条	2	0	0	0	2	2	0	2	0
23条	19	5	9	1	3	3	1	12	2
24条	3	0	1	1	0	0	0	1	1
25条	0	0	0	0	0	0	0	0	0
26条	2	2	0	0	0	0	0	0	0
26条の2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
26条の3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	26	7	10	2	5	5	1	15	3

※24条一件、年度末に通報受理し、措置診察を次年度当初に行った。

3月末現在

- 22条：診察及び保護の申請
- 23条：警察官の通報
- 24条：検察官の通報
- 25条：保護観察所の長の通報
- 26条：矯正施設の長の通報
- 26条の2：精神科病院の管理者の届出
- 26条の3：心神喪失等の状態で重大な他害行為を行ったものに係る通報

(3) 精神科救急医療体制整備連絡調整会議

精神疾患の急発・急変により速やかな医療が必要な者に対して、迅速かつ適切な医療の確保を図り、もって対象者の社会生活を支援することを目的として開催。

【精神科救急医療体制整備連絡調整会議】

開 催 日 時	内 容
平成30年11月8日(木) 14:00～16:00	1 圏域における精神科救急医療体制について 1) 空床確保業務の輪番体制について 2) 島根県精神科救急情報センターについて 3) 精神科救急医療体制について(県立こころの医療センター) 4) 出雲保健所年度別通報等件数・措置入院患者数について 5) 救急搬送について(出雲市消防本部) 2 協議事項 1) 困難事例 2) 措置入院者退院後支援について

(4) 心神喪失者等医療観察法に係る業務の連携

ア 医療観察制度運営連絡協議会、しまね医療観察研究会、医療観察法地域連絡会への参画

・島根医療観察制度運営連絡協議会

日時：平成30年7月27日(金) 場所：松江保護観察所

内容：医療観察法施行状況、島根県における施行状況、入院から通院処遇へのスムーズな移行のために「入院処遇の実際」について報告 等

・しまね医療観察研究会

第1回 日時：平成30年9月25日(火) 場所：こころの医療センター

内容：アズ・イフ・プロセスを用いた多機関多職種連携のための事例検討

第2回 日時：平成31年3月2日(月) 場所：松江テルサ

内容：これからは「クライシス・プラン」をつくっておこう 実践報告、ワークショップ

・しまね医療観察研究会 第2回打ち合わせ 平成31年1月9日(水) 場所：出雲保健所

・医療観察法地域連絡会 平成30年10月24日(水) 場所：こころの医療センター

イ 個別支援 平成30年度 処遇対象者 0件

ウ 保護司地域別定例研修会での情報提供 平成30年12月7日(金) 場所：出雲市民会館

「出雲保健所におけるアルコールに依存する方への対応」

5 精神障がい者の自立と社会参加を支援

(1) 精神障がい者社会適応訓練事業

協力事業所における訓練が効果的に実施できるよう、医療機関等との連携を図り、当事者や家族への支援を行った。定期的な事業所訪問など、協力事業所に対する支援に努めた。

ア 精神障がい者社会適応訓練運営協議会の開催

開催日時	内 容
平成30年8月9日(木)	- 平成30年度前期訓練実施状況、平成30年度後期訓練対象者について - 社会適応訓練事業に係る登録事業所の意向調査について - 精神障がい者社会適応訓練事業について
平成31年1月18日(金)	- 平成30年度後期訓練実施状況、平成31年度前期訓練対象者について - 今後の社会適応訓練について

イ 協力事業所状況及び委託事業所数 (H31年1月末現在)

協力事業所		委託事業所数 (前期・後期合計)
登録数	受け入れ中 今後受け入れ可能 条件が合えば受け入れ可能	
31	18	1

*H30.6月～7月 「精神障がい者社会適応訓練事業に係る登録事業所の意向調査」を実施
登録辞退及び宛先不通の事業所については、登録事業所から除外

*委託事業所:1事業所(内訳:小売業1)

ウ 訓練の状況

	平成29年度		平成31年度
期間	前期(H30.4～9月)	後期(H30.10～H31.3月)	前期予定(H31.4～9月)
訓練生	1名(継続1)	1名(新規1)	1名(継続1)

※平成30年度前期訓練生については、就労移行支援利用のため平成30年5月をもって訓練終了。

エ 訓練生交流会の開催

例年6月頃に開催していたが、平成30年度は対象者がいなかったため開催なし。

(2) 精神障がい者地域生活移行支援・地域定着支援事業

「入院医療中心から地域生活中心へ」という考え方にに基づき、精神障がい者が暮らしやすい地域社会の実現を目指すことを目的に平成19年度から実施。

ア 精神障がい者地域移行・地域定着推進協議会

(出雲地域精神保健福祉協議会医療の連携と在宅支援に関する部会と兼ねて開催)

※医療の連携と在宅支援に関する部会 参照

イ 措置入院患者の退院後支援

「地方公共団体による精神障害者の退院後支援に関するガイドライン」に基づき、圏域での支援を実

施。

○措置定例会の実施

原則第2、4火曜日9～10時 所内においてケース管理の会を実施

○個別ケース支援（随時）

○圏域内精神科病院において、説明及び意見交換会の実施

ウ 精神障がい者地域生活移行・地域定着支援事業研修会の開催

精神障がい者が住み慣れた地域を拠点とし、本人の意向に即して、本人が充実した生活を送ることができるよう、地域生活への移行に向けた支援並びに地域生活を継続するための支援を推進するため、医療機関に従事する関係職種が地域生活移行・地域定着支援事業についての理解を深めることを目的とし、各医療機関毎にテーマの希望を聞き、研修会を実施。

対象：出雲圏域の精神科病床を有する4病院のスタッフ

内容：

①島根大学医学部附属病院 テーマ「引きこもりの方への支援について」

講師：心と体の相談センター 所長 小原 圭司 氏

判定支援係 係長 眞田 美紀 氏

日時：H30.9.11（火）17:15～18:15

場所：島根大学医学部附属病院 8階 カンファレンス室

参加者数：19名

②県立こころの医療センター テーマ「強度行動障がい棟について」

講師：光風園 松尾 氏

日時：H30.9.21（金）16:00～17:00

場所：県立こころの医療センター 2階 大会議室

参加者数：14名

③海星病院 テーマ「地域移行・地域定着支援について」

講師：訪問看護ステーション レリーサ 看護師 若林 隆志 氏

相談支援専門員 富岡 大樹 氏

日時：H30.11.16（金）17:30～18:30

場所：海星病院 大会議室

参加者数：20名

④県立中央病院 テーマ「地域での生活を支える資源について」

講師：ふあっと 足立 須和子 氏

日時：H30.11.30（金）17:30～18:30

場所：県立中央病院 4階 カンファレンス室

参加者数：14名

エ 自立支援ボランティア・ピアサポーター等活用事業

（ア）自立支援ボランティア・ピアサポーター等活用事業連絡会

日 時	内 容
	今年度実績なし

(イ) ①3圏域合同ピアサポーターフォローアップ研修

日 時	内 容
平成30年8月23日(木) 13:30～16:00	①こころの森（出雲圏域ピアサポーター）の活動に参加 ②ピアサポーター同士の交流（県央圏域、雲南圏域、出雲圏域） テーマ「日頃の活動について情報交換しよう」

②松江・出雲ピアサポーター・自立支援ボランティアフォローアップ研修

日 時	内 容
平成30年11月9日(金) 10:00～11:30	①活動報告 「他圏域のピアサポーターの活動を聞いてみよう」 出雲圏域のピアサポーターより日々の活動を報告 ②活動交流 テーマ「今後取り組んでみたいことについて話し合おう」

(ウ) 活動状況

○自立支援ボランティア活動実績なし

○ピアサポーター 「社会福祉法人ふあっと」及び「社会福祉法人桑友」に委託実施

【社会福祉法人ふあっと】（ピアサポーター活用状況）H30.3月末現在

現時点での登録人数	4人	【活動内容】 ・医療機関の行事等入院患者と一緒に参加し、活動している。等
内実人員	3人	
活用延べ人数	64人	

【社会福祉法人桑友】

現時点での登録人数	1人	【活動内容】 活動実績なし
内実人員	0人	
活用延べ人数	0人	

オ 地域関係施設と医療機関関係職員との交流実習

ア) 医療機関実習

実習日時	実習場所	参加人数	参加者職種
H30.11.7 H30.11.19	訪問看護ステーション レリーサ	3人	相談支援専門員 2 介護支援専門員 1
H30.11.6	デイケアひだまり	1人	看護師 1
H30.11.9	海星病院	1人	OT 1
H30.12.6	こころの医療センター	2人	看護師 1 相談支援専門員 1

イ) 地域関係施設実習 (H30.10.31)

実習場所	参加人数	職種
社会福祉法人 ふあっと	5人	看護師 1 介護支援専門員 2 相談支援専門員 2
社会福祉法人 桑友	5人	介護支援専門員 1 看護師 1 PSW 1 OT 1
相談支援事業所 プレーゲ 指定障がい福祉サービス事業所 フィリア	1人	看護師 1
障がい者自立支援事業所ぽんぽん船 指定共同生活支援事業所 ハートフルホーム かんど	1人	看護師 2 OT 1

カ ケア会議等への参画

- ・出雲市精神障がい者退院支援ネットワーク会議及びワーキング会議(月1回)
- ・出雲市自立支援協議会、つながる部会、出雲市自立支援協議会サービス調整会議

キ 出雲地域居宅介護事業者連絡会研修会への参画

- ・平成30年11月1日(木) 14:00~16:00
- ・平成31年1月15日(火) 13:30~16:00

(3) 精神保健包括支援会議の開催(2カ月1回)

※平成25年度まで実施したアウトリーチ推進事業を活用し、多機関・多職種のネットワークによる支援

目的：多機関・多職種による処遇困難事例のカンファレンスを行い、出雲圏域の個別支援のバックアップ機能を担う。また、精神障がい者の地域移行支援・地域定着支援に関わる検討を行う

内容：

- ・処遇困難事例の検討

実施方法	①困難事例(精神医療の中断者、精神疾患が疑われる未受診者、ひきこもりの精神障がい者(疑い含む)、長期入院の後退院した者、入退院を繰り返す者)を、多機関・多職種の精神保健包括支援会議のメンバーで検討した。 ②関係機関に本事業の趣旨等を周知し事例提出を依頼した。 ③登録機関の構成員がスーパーバイザーの役割を果たし、関係機関から提出された困難事例を検討した。
------	--

実施内容	①原則奇数月第3木曜日 15:00～17:00実施（5月17日、7月19日、9月13日、11月15日、1月17日、3月7日） ②包括支援会議のあり方について検討し要領の一部変更を行った。
------	--

結 果	・登録機関数は12機関で登録者は34名、毎回約30名が参加した。 ・困難事例の検討は、6ケースを実施した。（平成31年1月末時点） ・多職種、多機関に参加してもらうことで総合的な視点での事例検討ができ、広い視点、新たな視点での支援継続に繋がった。 ・ファシリテーターを登録機関の2機関と事務局で交代で担当し、2事例の場合はグループを分け検討した。限られた時間で参加者の意見を引き出し検討することが出来た。 ・検討事例は6か月後に様式を示し経過報告を行うこととした。検討したことが支援に役立っていることが理解出来た。
-----	---

・協議・報告事項、その他

- ・精神保健包括支援会議のあり方について
- ・措置入院患者の退院後支援について
- ・地域移行・地域定着支援事業の研修会について
- ・地域と医療機関職員の交流実習について

（４）組織活動の支援

ア 家族会組織の活動支援

（ア）出雲地区家族会連絡協議会

地域や病院等の各家族会の共通した課題の解決に取り組めるよう支援した。

開 催 日	内 容	参 加 者
平成30年8月30日（木）	役員会 ・平成29年度事業報告・決算報告について ・平成30年度事業計画・予算（案）について ・各家族会の状況について	12人
平成30年12月11日（火）	家族交流会 ・講演「家族の役割」 講師：障害福祉サービス事業所 フィリア 精神保健福祉士 原 増男 氏 ・寸劇「トラブルに遭わないために～いろいろな悪徳商 法の手口と対策～」 講師：島根県消費者センター 座長 川田 ナツノ 看護師	46人

イ ボランティア組織への支援

出雲地域の精神保健ボランティア組織「出雲ほほえみの会」の活動が広がるよう支援を行った。

平成17年9月から、従来保健所で実施していたデイケア「なかまの会」をほほえみの会が主催する「サロン」として位置づけ、月1回習字、手芸、調理実習等が行われている。

また、相談支援事業所ふあっとから、生活訓練への協力要請を受け協力（手芸、絵手紙、塗り絵等）。

（ア）出雲ほほえみの会総会並びに研修会の開催支援

（イ）活動への同伴、なかまの会活動の見守り

（5）障がい者福祉サービス事業所への支援

社会復帰のための身近な社会資源である就労支援事業所等の運営について、支援を行った。

湖陵：みずうみ 1回

多伎：ぽんぽん船 2回

6 自死総合対策

管内の自死者は平成29年人口動態統計では25人であった。減少傾向にあるが、男性は壮年期に、女性は高齢期に多いのが特徴。平成17年度から自死防止対策を実施している。

（1）出雲圏域自死総合対策連絡会（出雲地域精神保健福祉協議会自死総合対策に関する部会、出雲市自死対策検討委員会を兼ねる）の開催

平成30年3月に島根県アルコール健康障がい対策推進計画策定により、今年度から構成団体に断酒新生会が加わった。

平成28年に自殺対策基本法が改正され、各自治体でも計画定めることになり出雲市でも「出雲市自死対策総合計画」を策定

「島根県自死対策総合計画」の改定に伴い、「出雲圏域自死総合対策行動指針」も改定を行った

【構成団体】

- ・医療機関：出雲医師会産業担当理事、精神科医師、精神科看護師、精神保健福祉士
- ・報道：山陰中央新報社出雲総局、島根日日新聞社
- ・労働・職域：出雲商工会議所、斐川町商工会、島根県環境保健公社、出雲労働基準監督署
公共職業安定所
- ・地域：出雲市社会福祉協議会、地域生活支援センター、出雲市民生委員児童委員協議会
出雲市コミュニティセンター長会、出雲市高齢者クラブ連合会、島根県断酒新生会
- ・自死遺族自助グループ：しまね分かち合いの会・虹
- ・法律：島根県弁護士会
- ・行政：出雲警察署、出雲市消防本部、出雲市、出雲市教育委員会、出雲保健所

【出雲圏域自死総合対策連絡会の開催】

開催日時	内容
第1回 平成30年7月12日（木） 14：00～16：00	1 自死の状況と対策について 2 出雲保健所の取組について 3 出雲市の取組について 4 各団体・機関の取組について 5 出雲市自死総合計画（仮）策定について意見交換

第2回 平成31年2月28日(木) 14:00～16:00	1 出雲圏域自死総合対策連絡会について (1) 連絡会の開催状況 (2) 普及啓発活動の取組 2 出雲圏域自死総合対策行動指針(案)策定について
--	---

(2) 活動

ア 普及啓発活動の取組

(ア) 健康長寿しまね推進会議こころの分科会と連携し、普及活動を展開

(イ) 自死防止キャンペーンを実施

イ 早期発見・早期治療、ゲートキーパーの養成、相談窓口の確保

ゲートキーパーの養成

- ・島根県特別支援学校教育研究会 養護教諭部会＋出雲養護学校職員

※ 子どもの心の診療ネットワークと連携実施

研 修：ゲートキーパー養成研修

会 場：出雲養護学校 大会議室

開催日：平成30年8月24日(金) 13:20～15:40

参加者：県内養護学校 養護教諭 17名 出雲養護学校職員 35名

内 容：メンタルヘルス・ファーストエイド、うつ病と自死に関する基礎知識、うつ病に対するM
HFAアクションプラン、ロールプレイ演習、自傷行為について

- ・島根大学医学部 看護学科

研 修：ゲートキーパー養成研修

会 場：島根大学医学部

開催日：平成30年11月19日(金) 10:15～11:45

参加者：看護学科2年生 61名

内 容：ゲートキーパーとは、うつ病、傾聴、悩んでいる人への接し方、演習(ロールプレイ)

ウ 一般かかりつけ医と精神科医の連携

かかりつけ医精神疾患対応力向上研修の開催

研 修：かかりつけ医のための精神疾患研修会

会 場：出雲医師会館 大ホール

開催日：平成30年12月3日(月)

参加者：45名

内 容：「不安・不眠に対する対応について

～ベンゾジアゼピンの処方も含め～」

島根大学医学部 精神医学講座 教授 稲垣正俊 氏

7 子どもの心の診療ネットワーク事業

子どもの心の診療ネットワークを構築することにより、様々な心の問題を持つ子どもと家族が状況に応じて適切な相談支援や診療を受けることができることを目的に事業を実施した。

(1) 出雲圏域子どもの心の診療ネットワーク会議の開催（年2回）

日 時	内 容
第1回 平成30年7月26日（木） 14:00～16:00 参加者 13機関（21名）	1. 医師中央派遣研修の報告 講師：県立中央病院 小児科 医長 南 憲明氏 2. 報告（平成29年度活動報告・平成30年度の活動取組） 1) 県立こころの医療センターの取組 2) 県の取組 3) 出雲圏域の取組 4) 各機関の取組 3. 協議事項 1) 子どもの心の健康相談について 2) 医療機関への繋ぎ方について
第2回 平成30年2月21日（水） 14:00～16:00 参加者 14機関（24名）	1. 報告 1) 県立こころの医療センターの取組 2) 出雲圏域の取組について （平成30年度の活動報告・平成31年度の方針性） 3) 島根大学医学部附属病院子どもの心診療部の取組 2. 協議事項 1) 学校等から医療への繋ぎについて 2) かかりつけ医と専門医療機関との連携について

(2) 子どもの心の健康相談の開催（年4回）

相談対応者：こころの医療センター医師・臨床心理士、保健師等

回数：年4回（6月6日、7月4日、9月19日、10月24日）

時間：13:00～16:00

対象：子ども・若者支援センター、出雲市教育委員会からの紹介事例

相談対象：精神科医療に繋がっていない困難ケース

相談件数：9件（小学生4件、中学生5件、高校生0件）

相談内容：ひきこもり、不登校

(3) 関係者事例研修会の開催（年1回）

日時：平成30年11月6日（火）15:00～17:00

場所：出雲保健所

対象：検討事例に実際関わっている、又は過去の支援者、今後、検討事例に関わりがあると思われる支援者

参加者：8機関(20名)

内容：「不登校生徒や不適応生徒等への関わり方」について

助言・指導者：県立こころの医療センター 医療技術部長 萬木 暁雄 氏
臨床心理士 高梨 夏美 氏

(4) 子どもの心研修会の開催(年1回)

日時：平成30年11月28日(水) 19:30～21:00

場所：出雲医師会館

対象：出雲医師会会員、学校関係者等

参加者：医師、学校、福祉、行政関係者等 98名

内容：講演「知っておきたい発達障害～不登校や不定愁訴の症例から～」

講師 島根大学医学部附属病院小児科講師

松江赤十字病院小児科医師

長谷川 有紀氏

(5) 医師中央派遣研修の実施

派遣医師：県立中央病院 小児科 医長 南 憲明氏

研修名：第20回「子どもの心」研修会

開催場所：ベルサール新宿セントラルパーク

開催日：平成30年5月19日(土)、20日(日)

(6) 思春期出前講座の開催

対象：希望される学校へ出向いて講座の開催

出雲農林高校1年生、平田小学校5年生、西田小学校5年生の生徒、教員

回数：3回(237名)

内容：「思春期のこころについて」

講師：「心の健康づくり取り組み隊」登録講師

東 美奈子氏、若林 隆志氏、富岡 大樹氏、富岡 孝行氏

(7) 「出雲地域思春期心の相談先(2019年版)」の作成

配布先：出雲市立小中学校、出雲市内高等学校、圏域子どもの心の診療ネットワーク会議参加
機関、出雲圏地域思春期の心の相談先掲載機関

8 ひきこもり対策

(1) 相談対応(随時)

(2) 島根県ひきこもり支援センターと連携した取り組みを実施

- ・ひきこもり家族教室の開催支援(年3回)(7月11日、9月12日、10月19日)
- ・ひきこもり家族の集いへの開催支援(年2回)(4月17日、1月29日)
- ・ひきこもり支援者研修会(出雲会場)(2月4日)

9 認知症対策

(1) 認知症包括ケアに関する人材育成

ア 歯科医師会及び薬剤師会の認知症対応力向上に向けた取り組みの推進

(ア) 認知症対応力研修会の開催

- ・薬剤師会との合同研修会

日 時：平成30年10月30日 参加者：43名

内 容：講話「認知症患者の薬剤管理について」

エスポアール出雲クリニック院長 高橋幸男 氏

事例報告「認知症の方の薬剤管理を適切に行うには～薬局薬剤師の立場から～」

ファーマシー薬局出雲薬剤師 寶大寺淳 氏

意見交換

- ・歯科医師会との合同研修会

日 時：平成30年11月28日 参加者：32名

内 容：講話「認知症患者の理解と治療について」

エスポアール出雲クリニック院長 高橋幸男 氏

意見交換

(3) 市・医師会と連携した事業の推進

- ・出雲市認知症高齢者支援強化検討会・出雲市認知症初期集中支援チーム検討委員会
- ・認知症サポート医連絡会
- ・認知症キャラバンメイト養成研修（保健師1名受講）
- ・認知症ケア・フォーラム in いずも
- ・出雲認知症懇話会研修会
- ・認知症研修会
- ・世界アルツハイマーデー キャンペーン

10 高次脳機能障がい者支援

(1) 拠点病院を基点としたネットワーク会議等へ参画

- ・高次脳機能障がい者支援パワーネットワーク会議への参加

日時：偶数月の第3水曜日

場所：エスポアール出雲クリニック

参加機関：脳神経内科、脳外科、リハビリ関係の医師、コメディカルスタッフ、工学部関係等
行政関係者等多岐にわたる関係機関

内容：行政からの情報提供、研究機関からの最新トピックス、事例検討等を実施

- ・脳損傷者ケアリング・コミュニティ学会 実行委員会への参画

11 市や関係機関のネットワーク構築等への参画・支援

(1) 市におけるネットワーク

ア 自死対策への支援

出雲市自死対策検討委員会を出雲圏域自死総合対策連絡会・出雲地域精神保健福祉協議会自死

総合対策に関する部会と同時開催し、自死対策に関する諸課題について検討した。

イ 障がい者総合支援法の円滑な実施のための支援

出雲市障がい者施策推進協議会推進会議委員として参画

出雲市障がい者施策推進協議会つながる部会に参画

出雲市障がい者施策推進協議会サービス調整会議に参画

就労支援ネットワーク会議に参画

ウ 精神障がい者退院支援事業への支援

出雲市精神障がい者退院支援ネットワーク会議に委員として参画

エ 出雲市要保護児童対策地域協議会代表者会」及び「実務者会議」に参画

オ 出雲市子ども・若者支援協議会および支援者研修会へ参画

カ 認知症対策への支援

・出雲市認知症高齢者支援強化検討会、出雲市認知症初期集中支援チーム検討委員会

・出雲認知症サポート医連絡会

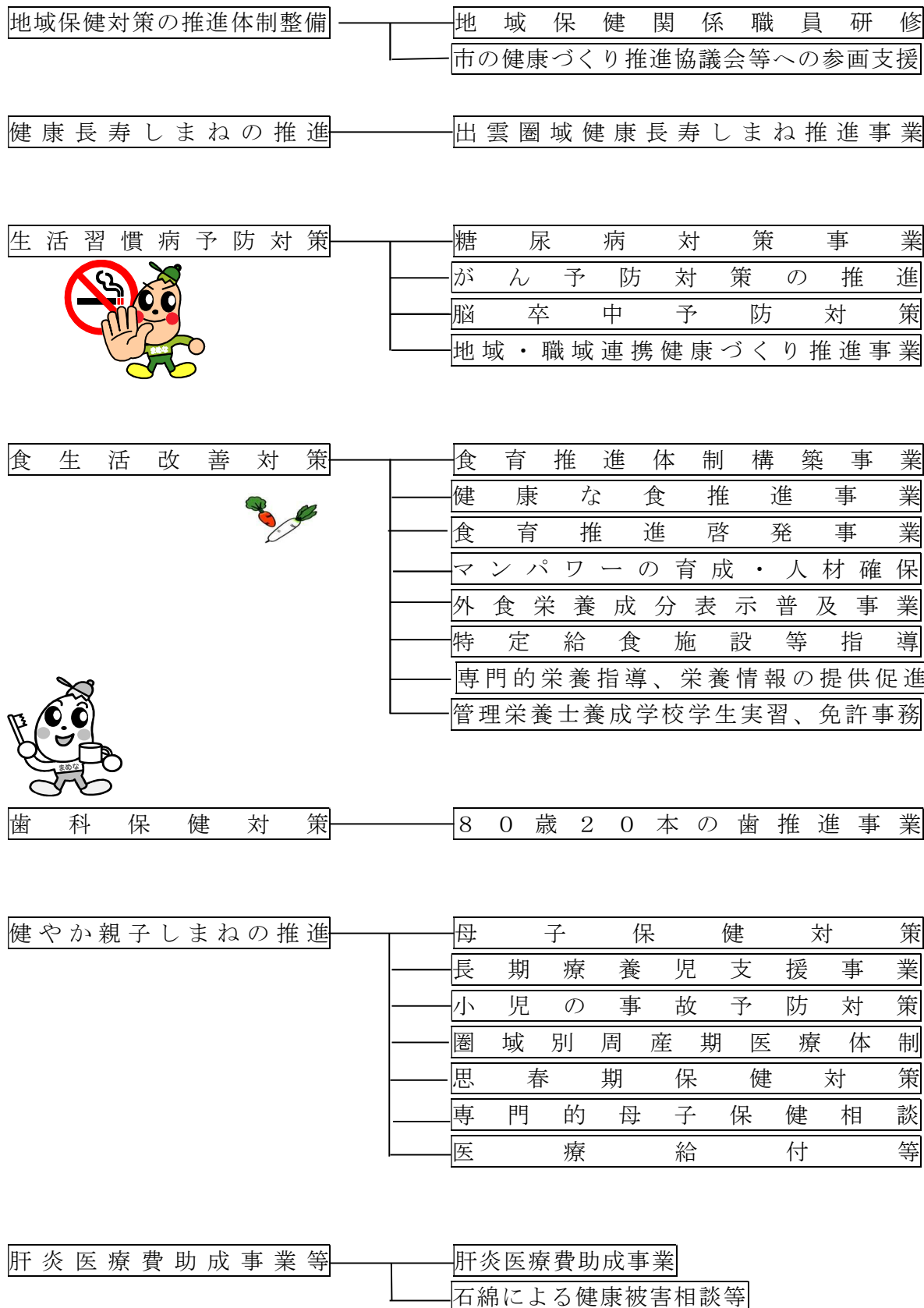
(2) その他

ア 出雲地区被害者支援ネットワーク総会への参画

イ 出雲市女性に対する暴力対策関係機関連絡会への参画

ウ 強度行動障がい（児）者処遇支援体制整備事業 情報交換への参画

健康増進課業務



健康増進課

1 地域保健対策の推進体制整備

(1) 地域保健関係職員研修

ア 地域保健関係職員研修

出雲圏域の健康課題に応じた保健福祉活動を展開するために必要な知識・技術を習得するとともに、効果的な保健活動の推進につなげることを目的に研修会を開催した。

	日時・場所	内 容	参加者
1回	平成30年8月2日 13時30分～ 16時50分 出雲市役所	1 情報提供 (1)「出雲地域の脳卒中発症、血圧管理の状況について」 (2)「出雲市における地域ですすめる減塩の取組～塩分チェックシート調査とその活用」 2 講演・演習－危機管理対策について－ (1) 情報提供「出雲市における保健師災害対策の近況」 (2) 講演「保健活動と危機管理～有事に向けて平常時からの保健活動を考える～」 (3) 演習 HUGゲームの説明、実施 3 意見交換（グループワーク） 災害発生の際の諸同時及び平時にすべきこと 4 発表・まとめ 助言者：島根県保健師人材育成トレーナー 永江尚美 氏	出雲市及び保健所保健師等 地域保健活動に従事する専門職員 計48名
2回	平成30年11月20日 13時30分～ 16時45分 出雲保健所	1 情報提供 「出雲圏域の脳卒中と血圧管理について」 2 新任期保健師成果発表 1年目 3名、2年目 5名 計 8名 3 意見交換 4 まとめ・助言 助言者：出雲保健所長 牧野由美子	出雲市及び保健所新任保健師・プリセプター・指導者等 計24名
3回	平成31年1月15日 9時30分～11時30分 出雲保健所	1 事例検討 新任期保健師からの事例紹介と意見交換 2 前期の振り返りと後期に向けて 新任期保健師から発表	保健所保健師等 計9名

イ 地域活動歯科衛生士育成支援

日程	4/9	5/14	6/11	7/9	9/10	10/1	11/19	12/17	1/21	2/18	3/18
参加数	11	11	10	10	11	10	9	11	11	11	
内容	○ライフステージに沿って指導ポイント等を共通認識 ○最新情報など情報提供、事業実施における助言等 ○市の担当者参加の上、事業のねらいの確認、歯科衛生士の役割確認、スケジュール等目線合わせ ○地域ケア個別会議の事例検討 ○新規事業の打合せ 等										

ウ 地域活動栄養士等への支援

日時・場所・参加人数	内 容
①市・保健所栄養士業務連絡会 開催日：H30年5月21日（月） 場 所：出雲保健所 参加者：市栄養士3名 ②学校栄養士・栄養教諭との連絡会 開催日：H30年6月15日（金） 場 所：出雲市学校給食センター 参加者：出雲市学校給食食育研究会13名 ③市及び保健所栄養士と地域活動栄養士連絡会 開催日：H30年7月25日（水） 場 所：出雲保健所 参加者：地域活動栄養士 7名 市栄養士 3名 ④出雲地区栄養士会連絡会 開催日：H30年4月26日（木） 場 所：出雲市学校給食センター 参加者：出雲地区栄養士会 4名	①・市/保健所の栄養改善業務について ・地域における活動状況 ・情報交換 ②・出雲保健所からの情報提供 ・学校給食における食育推進計画について ③・市/保健所の栄養改善業務について ・市及び保健所栄養士と地域活動栄養士の情報交換 ・在宅療養における低栄養改善・食支援対策について ④・出雲市地域ケア個別会議への参加について ・意見交換

(2) 健康づくり推進協議会等への参画支援

ア 出雲市・保健所事業連絡会の開催

年度初めに、出雲市・保健所事業連絡会を開催し、重点事業並びに事業支援について検討を行った。また、事業ごとに、市及び保健所の担当者連絡会を開催し、情報の共有や役割分担を図り事業の推進に努めた。

会 議 名	開催日
・出雲市・保健所業務連絡会	5/24
・出雲圏域健康長寿しまね推進事業（活動交流会）連絡会	12/11
・地域職域連携に関する打合せ	6/13
・糖尿病対策連絡会	7/2
・脳卒中予防対策検討会打合せ	2/26

イ 出雲市の事業への参画

出雲市健康のまちづくり推進会議、斐川地域健康づくり推進協議会への参画、講演等地域の健康づくり活動への支援及び地域保健関係データ等の分析や情報提供、専門技術的支援を行った。

【出雲市】

会議名	開催日
出雲市健康のまちづくり推進会議及び食育のまちづくり推進会議	7/19
出雲市親子ネットワーク会議	9/20
出雲市青壮年期・高齢者ネットワーク会議	10/18
出雲市食育推進ネットワーク会議	10/31
出雲市健康づくり推進員委嘱式・研修会	5/1
南中校区健康を考える会	11/22
出雲市食のボランティア連絡協議会総会	6/4
出雲市食のボランティア育成講座	9/11
出雲市介護予防サポーター養成講座	7/18
出雲市総合社会福祉大会	9/13

【支所】

会議名	開催日
斐川地域健康づくり推進協議会	7/25 3/6
斐川地域健康づくり研修会	9/2

2 健康長寿しまねの推進

平成24年度に策定した「第2次出雲圏域健康長寿しまね推進計画（H25～34年）」を基に、健康長寿日本一を目指し、課題である一般住民への啓発と「食生活」「たばこ」「運動」「こころ」「歯科」の5つを重点課題とし、関係機関・団体等の協働により事業を展開した。

今年度から、昨年度計画の中間評価及び一部改定した後期計画に沿って、「高血圧を予防しよう」「高齢者のフレイル（虚弱）・ロコモを予防しよう」を活動重点テーマに追加して構成団体と協働し活動を行った。

(1) 出雲圏域健康長寿しまね推進事業

ア 出雲圏域健康長寿しまね推進会議の運営

(ア) 出雲圏域健康長寿しまね推進会議

回	開催日・場所	内 容	参加者
1	平成30年6月27日 出雲保健所	1 ミニ学習「出雲圏域健康長寿しまねの取組について」 出雲保健所 所長 牧野由美子 2 平成29年度の主な取組及び平成30年度計画について 3 各団体の健康づくり活動の取組計画について 4 意見交換	委員 25名

(イ) 出雲圏域健康長寿しまね推進会議 幹事会

回	開催日・場所	内 容	参加者
1	平成31年2月27日 出雲保健所	1 推進会議全体及び各分科会の進捗状況について 2 出雲圏域健康づくり活動交流会について 3 第2次出雲圏域健康長寿しまね推進計画について 4 その他	委員 10名

(ウ) 出雲圏域健康長寿しまね推進会議 分科会

- ・各分科会がそれぞれに会を開催し「事業計画立案」、「実施」、「評価」等を行った。
「食生活」「たばこ」「運動」「こころ」「歯科」：各2回

イ 出雲圏域計画推進事業【全体事業】

(ア) 一般住民への啓発事業

a イベントへの参加

「出雲ドームdeスポーツ&健康フェスティバル」に参加し、健康長寿しまね推進会議のコーナーを設置

日時・場所	参加人数	内 容
平成30年4月28日 (土) 出雲ドーム	約324名 (スタンプラリー参加者)	食生活分科会： 「朝食を食べよう！うす味でおいしく食べよう！」 たばこ分科会：「たばこの害を知ろう！」 運動分科会：「体力を知ろう！」 こころ分科会：「よりよい睡眠について考えよう！」 歯科分科会： 「むし歯のなりやすさをチェック～知ろう、砂糖の量」 がん予防： 「知ろう！がんのこと 受けよう！がん検診」

b 「まめなくんだより」の発行

タイムリーな内容を掲載し、構成団体及び関係機関等に約2,500部配布し啓発を図った。(35号 H29.8) また、臨時増刊号を3月に発行しグループ表彰と8020表彰について周知した。

c 健康づくりグループの把握

市・コミセン・構成団体に把握調査を依頼し20グループの情報提供あり。

d 健康づくり活動交流会の開催

日時・場所	参加人数	内 容
平成30年12月18日(火) 13:30~16:00 出雲市役所 くにびき大ホール	146名	表彰式 健康づくりグループ、8020よい歯のコンクール) 活動発表 健康づくりグループ 圏域健康長寿しまね推進会議 3分科会 展示物見学 ミニ研修「禁煙支援を広げよう」 講師：島根県薬剤師会出雲支部 山田珠央 氏

(イ) 表彰

- a 健康づくりグループ圏域審査会の開催 平成30年8月28日（月）
- b 健康づくりグループ表彰（健康づくり活動交流会において表彰）
・奨励賞5グループ、継続賞9グループ、圏域会長賞6グループ、
- c 8020よい歯のコンクール（健康づくり活動交流会において表彰）
・被表彰者23名のうち、10名の出席

(ウ) 健康づくりグループ支援事業

a 健康づくり出前講座の実施

区分	食	たばこ	運動	こころ	歯科	健康全般	合計
事業所	3	2	0	10	0	5	20

b 健康づくり機器の貸し出し 13回（10団体）

ウ 出雲圏域計画推進事業【分科会】

《食生活分科会》

(ア) 外食栄養成分表示普及事業

- a 健康づくり応援店の拡大・フォロー
・新規店舗数 なし
・平成30年度 健康づくり応援店 登録店舗数 62店舗

b 連絡調整会議の開催（食生活分科会と併せて実施）

開催日	場 所	内 容	参加者
①平成30年6月27日	出雲保健所	・平成30年度事業計画について	7人
②平成31年2月1日	出雲保健所	・平成31年度事業について	6人

c 健康づくり応援店のPR

- ・飲食店等が集まる場を活用し、事業のPRを行う。

(イ) 食生活改善に関する啓発事業

a 各種イベントでの「食の体験コーナー」の設置

出雲ドーム：朝食ボードアンケート（395人）、塩分摂取量チェック（138人）、
減塩レシピ試食（120人）、展示、レシピ等の配布
活動交流会：減塩レシピ試食（100人）、塩分セルフチェックシートの配布

b 食育キャンペーン

日時：平成30年6月17日（土）10:30～12:00

場所：ゆめマート神西店

内容：①適塩みそ汁の試食：75名

（うち聞き取りアンケート協力者：66名）

②朝食アンケート 回答者 185名

③チラシ・レシピ配布 配布数 約200名

④食育に関する展示

c 食育コーナーの設置

レシピ・パンフレットの配布

時期：平成30年6月、平成31年3月

場所：コミュニティーセンター（23箇所）、保育所（54箇所）、
幼稚園（27カ所）

d 出前講座 3回

- ・中電工 : 7/5(木) 参加者：100名
内容：「食生活と生活習慣病について」
- ・島根富士通：7/6, 11, 17 参加者：85名
内容：「たばこ・食・飲酒について」
- ・フコク生命：6/19(火) 参加者：20名
内容：「健康的な食生活のポイントを知ろう！」

e まちの食育ステーション事業（県事業と連動）

- ・健康な食についてのチラシ、レシピ等を店内に設置。
時期：6月（食育月間）
場所：株式会社ウシオ グッディー、マルマン大社店
- ・うすあじレシピの試食、チラシ配布、展示、アンケート等を実施。
日時：平成30年8月26日(土)10:00～12:00 場所：マルマン大社店

《たばこ分科会》

（ア）喫煙防止教育体制の充実〔未成年者の喫煙防止対策〕

- a 禁煙週間キャンペーンを市内3カ所で行い、啓発を行った。
実施場所：平田高校、出雲農林高校、出雲北陵高校
参加者：計5団体、16人の圏域構成団体及び関係団体メンバー
チラシ・グッズ配布数：2,100枚

（イ）禁煙サポート体制の充実〔喫煙者の禁煙支援対策〕

- a 禁煙サポートリーフレットをイベント等で希望者に配布
- b 事業主セミナーにおいて、受動喫煙防止関係のパンフレットを配布
- c 出雲圏域禁煙治療実施医療機関 21機関

（ウ）公共施設、構成団体等の受動喫煙防止対策の推進〔受動喫煙防止対策〕

- a たばこの煙のない飲食店拡大事業
 - ・食品衛生協会と連携して事業をPR
 - ・健康づくり応援店へ事業のPR
 - ・新規登録：2店舗 出雲圏域登録件数：57店舗
- b たばこの煙のない施設登録事業
 - ・コミュニティーセンター長会、出雲市へ協力依頼
 - ・新規登録 27施設 登録件数 295施設
- c 公共的な施設の受動喫煙防止対策現地調査の実施（平成30年11月15日）
 - ・JR出雲市駅、アトネスいずもでのインタビューと意見交換
- d 事業所の受動喫煙防止対策

- ・働く人の健康づくりセミナー（平成30年10月29日）の開催案内に併せて、職場の受動喫煙防止対策の取組についてのアンケート調査を実施

(エ) 啓発活動

- a 禁煙週間におけるキャンペーン活動を実施
 - ・高校での街頭キャンペーン（平成30年6月7日）
 - ・展示：出雲市役所及び保健所においてパネル展示及び啓発チラシ等の配布（平成29年5月31日～6月6日）

《運動分科会》

(ア) 運動に関する啓発活動～ロコモティブシンドロームに関する普及啓発

- a 出前講座
 - ・実績なし
- b 出雲ドームdeスポーツ&健康フェスティバルでの「運動のコーナー」の設置
 - 内容：①片足立ちテストチェック
 - ②運動やロコモに関する展示
- c ロコモティブシンドロームに関するリーフレットの配布
- d 啓発用媒体の活用 貸し出し件数：3件（事業所0、出雲市2、海士町1）
- e 関係者向け研修会の開催 実施せず
- f みんなで歩こうチャレンジコンテストの開催
 - ・参加申込数：3事業所
 - 実績報告数：3事業所（参加チーム：38チーム）

(イ) ウォーキング情報の収集・提供

コミュニティセンター長会に出席、情報提供を依頼した。
→イベント情報提供あり、ホームページに掲載

(ウ) ウォーキングの普及啓発について

a 普及啓発

(a) まめなウォーカー主管のウォーキング大会の企画・運営

日時・場所	参加人数	内 容
平成30年12月2日（日） 宍道湖西岸周辺	63名（ウォーカー4名、保健所2名）	第6回宍道湖野鳥ウォーク （主催：NP0法人斐川体育協会 ひかわスポーツ夢クラブ）

(b) ウォーキングコース現地調査

○現地調査の実施

- ・日程：平成30年10月30日（火）
- ・対象コース：愛宕山お散歩コース
- ・出席者：出雲圏域まめなウォーカーの会、悠々散歩くらぶ、運動分科会構成員、出雲市平田支所市民福祉課、出雲保健所

○現地調査検討会（運動分科会に兼ねて実施）

・平成31年2月8日（金）内容：調査結果の分析、次年度に向けた実施について

出席者：運動分科会構成員8名、保健所2名

(c) 地域のイベント

まめなウォーカーに地域のウォーキングイベントについて情報発信を行った。

b 交流会

日時・場所	参加人数	内 容
平成30年8月30日 保健所	ウォーカー3名 保健所2名	今年度計画、今後の活動について 検討。活動の情報交換。

《こころ分科会》 心の健康支援課の実績報告参照

《歯科分科会》

(ア) 事業所出前講座 実績なし

(イ) 普及啓発… 各種イベントでの「歯科コーナー」の設置

①出雲ドームdeスポーツ&健康フェスティバル（4月28日）

②中学・高校の文化祭にあわせた歯科相談（島根県立大学出雲キャンパス）

③パネル展示、パンフレット配布

地域の健康づくりイベント等でパネル展示、パンフレット配布

糖尿病と歯周病の関連についてリーフレットの活用

早食い防止啓発チラシの活用

3 生活習慣病予防対策

(1) 糖尿病対策

ア 糖尿病予防対策検討会

	開催日・場所	内 容	参加者
1回	平成30年10月3日 出雲保健所	1 昨年度の振り返り 2 今年度の取組について	20名
2回	平成31年3月12日 出雲保健所	1 今年度の取組状況について 2 協議事項 ・糖尿病重症化防止の推進について 治療中断者対策について CKD対策について ・医科歯科連携の推進について 3 次年度の取組について ・出雲市における糖尿病予防（発症予防、重	22名

		症化予防) の推進 ・患者支援 ・糖尿病勉強会の開催	
--	--	----------------------------------	--

- ・歯周病と糖尿病との医科歯科連携に関するアンケート調査の実施

対 象	出雲市内の歯科診療所 (65カ所)
時 期	平成30年11月
回答数(回答率)	49 (75.4%)

イ 糖尿病友の会活動への支援 (意見交換)

(ア) 交流会

	開催日・場所	内 容	参加者
1回	平成30年7月17日 出雲保健所	1 自己紹介 2 平成30年度事業計画について 3 交流会：情報交換	12名

ウ 糖尿病勉強会の開催

	開催日・場所	内 容	参加者
1回	平成30年9月30日 出雲保健所	内容：講演①「もっと知りたい 糖尿病」 講演②「糖尿病の食事のヒント～旬の食材を利用して～」	8名
2回	平成30年12月9日 出雲保健所	内容：講演①「みんなで考えよう！糖尿病治療のウラ技」 講演②「糖尿病の運動療法～やらんといけんもんですか？」 体験談 ～出雲圏域 糖尿病友の会から～	16名

エ 研修会の開催 ※出雲医師会糖尿病合同カンファレンス共催

日時・場所	参加者	内 容 (テーマ)
①平成30年6月6日 (火)	①31名	①講演 『すこやかライフ健康相談』
②平成30年10月30日 (火)	②2名	講演 『糖尿病治療における運動療法の役割』
③平成31年2月26日 (火)	③28名	②講演 『糖尿病患者における骨折予防』 ③講演 『出雲市におけるCKD重症化予防対策』

		の取り組み』 講演『糖尿病性腎臓病（DKD）について』
--	--	--------------------------------

オ 糖尿病療養支援関係者研修会の支援

「飛び出せ!!出雲糖尿病療養指導フォーラム」4回、その他各機関からの案内（2回）を受け、関係機関のコメディカル等への案内を行った。

カ 普及啓発等

（ア）「出雲圏域 病院における糖尿病治療・教育等状況」の更新とホームページへの掲載

（イ）出雲商工会議所所報・JAいずもに啓発記事掲載

（ウ）歯周病啓発リーフレット（平成27年度作成）の改訂・増刷

※保険薬局における糖尿病療養指導に活用

（エ）出雲大社ブルーライトアップイベント後援

（オ）歯科医院掲示用ポスターを作成し、市内歯科医院に配布（出雲歯科医師会で周知）

（2）がん予防対策の推進

ア がん検診検討会 開催せず

イ 各種がん検診検討会 開催せず

ウ 市とのがん対策についての連絡会 11/1

エ 住民啓発に向けた胃がん対策研修会 2/5

オ がん検診の受診者増に向けた啓発

開催日・場所〈人数〉	内 容
○イベントでの啓発 平成30年4月27日（土・祝） 出雲ドームdeスポーツ&健康フェスティバル	チラシ配布 がん検診啓発サポーターによる乳がん自己触診法の指導

・出雲商工会議所所報等関係機関の広報媒体に記事を提供し啓発記事掲載

・働く人の健康づくりセミナーにおいてチラシ配布

オ がん検診啓発協力事業所がしまねまめな☆カンパニーへ移行 登録数：32事業所

カ がん検診啓発サポーターの派遣調整

活動回数6回（延べ人数6名）

キ 乳がん触診モデルの貸出

貸出団体 5団体（延べ5回）

ク 出前講座 2件

（3）脳卒中予防対策

ア 脳卒中等情報システム事業

・発症・退院連絡1件（平成30年4月～平成31年3月）

イ 脳卒中予防対策検討会議

平成31年3月8日・	<報告>	
------------	------	--

出雲保健所	1. 脳卒中発症者の状況 2. 出雲圏域の脳卒中对策の取組 <協議> 1. 発症予防（血圧管理） 2. 再発予防（脳卒中情報システム事業）	11名
-------	---	-----

ウ 圏域失語症友の会活動支援

毎月開催される友の会への支援及び充実した活動の継続に向け、圏域言語聴覚士の派遣依頼等を行った。

（4）地域・職域連携健康づくり推進事業

働きざかりの健康づくりの推進のため、各関係機関と連携し共働で取り組むことで、事業をより効果的に実施できた。

ア 出雲圏域地域職域連携推進連絡会

職域保健と地域保健との連携を図り、具体的な取組に向け連絡会を開催した。

開催日・場所	内 容	参加者
平成31年12月12日 出雲保健所	<報告> 1. 出雲圏域地域・職域連携推進連絡会の目指すところと役割 2. 今年度の取組 3. 働きざかりの健康実態について <検討・意見交換> 1. 受動喫煙対策 2. 脳卒中予防対策・血圧管理 3. がん検診の呼びかけ	事業所、商工会議所・商工会、医師会、歯科医師会、健康づくり支援機関、行政等

イ 働く人の健康づくりセミナー

島根産業保健総合支援センター・出雲労働基準監督署・島根労働基準協会出雲支部・出雲市・出雲圏域地域職域連携推進連絡会と共催で開催した。

（打合せ会：2回）

開催日・場所・参加者	内 容
平成30年10月29日 出雲合同庁舎 参加者 63名	○講演「健診の事後措置～リスク管理でいきいき職場づくりを～」 島根産業保健総合支援センター 相談員 春木 宥子氏

	○取組発表「ヘルス・マネジメント認定事業所の取組～健診の活用について～」 ○グループワーク「事業所の健康づくりで工夫していること、困っていること」
--	---

ウ 関係機関との連携、情報発信、啓発活動

- ・出前講座の周知
- ・商工会議所所報、JAしまね会報に健康づくり記事の掲載

(5) 特定健診・保健指導

各種会議でのデータ活用

4 食生活改善対策

(1) 食育推進体制構築事業

昨年度より、教育、生産関係者など幅広く関係機関・団体を参集し、出雲の食育に特化して検討する場として「出雲圏域食育ネットワーク連絡会」を開催し、食に関する関係機関と広く情報交換し、圏域の課題の共有をすることができた。

ア 出雲圏域食育ネットワーク連絡会の開催

開催日・場所	参加者数	内 容
平成31年2月1日 出雲保健所	15名	・島根県食育推進計画 第三次計画の進捗状況 ・各機関、団体の食育取組状況について ・意見交換

(2) 食育サポーター等育成時用

食のボランティア組織の活動が、より主体的な運営・活動となるよう支援を行うとともに、食育活動を進める機関・団体を対象とした研修会を開催し、食育推進の基盤整備につなげた。

ア 食育推進研修会の開催

日程・会場	参加者数	内 容
平成31年2月22日 出雲合庁	66名	・出雲市からの報告 「第3次出雲市食育推進計画について」 ・講演「働き盛り世代への効果的な啓発のすすめ」 ・活動発表（大社小学校 栄養教諭、食ボラ） ・グループワーク

イ 出雲市食のボランティア連絡協議会総会への参加

ウ 出雲市食のボランティア育成教室への支援

(3) まちの食育ステーション事業

スーパーを食の情報発信、実践のための拠点とし、毎月19日「食育の日」に併せて、健康な食（バランスのよい食事や減塩）の啓発を実施した。

ア まちの食育ステーションの設置：市内スーパー7か所

減塩レシピ等を店内に設置し利用者へ配布

イ うすあじレシピの試食、チラシ配布、展示等を実施。

日時：平成30年8月25日（土）10:00～12:00

場所：マルマン大社店

(4) 外食栄養成分表示普及事業

※圏域健康長寿しまね推進事業参照

(5) 特定給食施設等指導

給食施設の実態把握により、各施設において適正な給食が提供されるよう指導を行った。

（個別指導）病院：11施設、児童福祉施設：5施設

（集団指導）

対象・参加者数	日時・場所	内 容
出雲市保育協議会 調理担当者 50名	平成30年8月9日 出雲保健所	「保育所における給食・栄養管理について」

（その他）

ア 出雲D2会（出雲地域の病院と施設の栄養士の情報交換会）への参加：3回

イ 留置人の糧食カロリー計算：1回

ウ 栄養管理状況報告書の提出依頼、収集

エ 保育所における食物アレルギー対応の手引書の周知

(7) 専門的栄養指導

ア 長期療養児への支援

食物アレルギー親子交流会（にんじんくらぶ）への支援 平成31年2月24日（日）

イ 衛生教育の実施 4回

(8) 栄養情報の提供促進

機能食品並びに栄養表示基準制度の周知

健康増進法・食品表示法に関する相談件数 のべ 3件

(9) 管理栄養士養成学校学生実習

受入期間：平成30年8月22日～28日

受入施設及び人数：美作大学(2)、神戸女子大学(1)

(10) 国民健康・栄養調査の実施

地区指定なし

(11) 免許関係

管理栄養士免許 (書き換え 5件、再交付 1件)

栄養士免許 (書き換え 5件、再交付 3件)

調理師免許 (書き換え 8件、再交付 5件)

5 歯科保健対策

(1) 80歳20本の歯推進事業

生涯を通じた歯と口の健康づくりのため、①むし歯予防のためのフッ化物洗口の推進、②壮年の歯周疾患対策、③高齢者や急性期の口腔機能向上等の課題について関係諸機関と連携強化を図り取り組んだ。

ア 歯科保健連絡会議

地域の歯科保健の課題について、ライフステージに沿って検討を行った。

開催日・場所	メンバー	内 容
平成31年1月17日 出雲保健所	歯科医師会 歯科衛生士会 市・保健所	1. 乳幼児・学童 1) 報告 歯科保健データについて 2) 協議 ①乳幼児・学童期のむし歯対策 2. 青壮年期・高齢者 1) 報告 ①歯周病検診の結果 ②後期高齢者歯科口腔健診の結果 ③高齢期における歯科保健の取組 2) 協議 ①かかりつけ歯科医の定着に向けて ②高齢者の口腔フレイル予防

イ 事業所における出前講座の実施 (健康長寿しまね推進事業 歯科分科会に記載)
実績なし

ウ 市等への支援

(ア) 市の歯科保健事業について関係機関の調整

地域活動歯科衛生士の人材調整 (市への事業派遣)

歯周病検診の実施方法について打合せ

(イ) 歯科医師会の活動支援

地域包括口腔ケア会議への出席

(ウ) 地域活動歯科衛生士の活動支援

- ・在宅歯科衛生士連絡会（毎月開催）での助言、情報提供
- ・歯科保健指導用の共通の媒体を作成・配布し、各地域活動歯科衛生士が指導時に活用できるようにした。
- ・連絡会には必要時、市の事業担当保健師の参加も働きかけ、事業の趣旨説明、効果的な事業になるための目線合わせを行った。

(エ) 地域包括ケアシステムの構築に向けた支援

- ・地域包括口腔ケア会議（出雲市歯科医師会主催）への参画
- ・歯科からの在宅・施設療養支援に関するアンケート調査実施
（配布数65、回収数52、回収率80%）

エ 親と子のよい歯のコンクールの開催

平成31年5月10日に開催し4組参加。

6 母子保健対策

(1) 出雲圏域母子保健推進協議会

日 時	平成31年3月7日（木） 14:00～16:00
場 所	出雲合同庁舎
内 容	1 出雲圏域健やか親子島根計画（平成30年度～平成25年度）について 2 平成30年度 各機関の特徴的な取組・成果及び課題について
参加人数	検討会委員27名 保健所6名 計33名

(2) 長期療養児生活支援事業

ア 食物アレルギー児親子交流会（にんじんくらぶ）

【保健所共催】

	開催日・場所・参加人数	内 容
1	平成31年2月24日（日） 出雲保健所 参加者 28名（親 9名、子ども15名、 関係者 4名）	①調理実習 ②交流会

イ ダウン症児親子交流会（クローバーの会）

平成21年度より自主交流会が発足した。保健所とタイアップの交流会を2回、自主交流会は3回開催され、随時支援を行った。

【保健所主催】

	開催日・場所・参加人数	内 容
1	平成30年7月1日（日） 出雲保健所 親子36名、講師 1名、学生ボランテ ィア13名、保健所4名 計55名	1 交流会 座談会 ファシリテーター 島根大学教育学部教授 原広治氏

2	平成30年11月11日（日）出雲保健所 親子25名、講師1名、保健所5名 計31名	1 体験学習「親子でレッツダンス」 講師：勝部恵子氏 2 交流会
---	---	--

自主交流会；平成30年5月13日、7月29日、3月4日

ウ ロ唇口蓋裂児親子交流会（ピーチの会）

これまで松江圏域の会に参加を呼びかけていたが、口唇口蓋裂児の出生と他の保護者との交流の要望を受け、平成22年度から出雲圏域での交流会を企画・実施した。

また、平成23年度からは会の名称を決められた。

	開催日・場所・参加人数	内 容
1	平成30年5月2日（日）14:00～16:00 いずも子育て支援センター 親子28名、関係者5名、託児ボランティア15名、保健所3名 計52名	1 自己紹介および近況報告 2 交流会
2	平成30年10月29日（日）14:00～16:00 出雲保健所 親子38名、講師1名、関係者4名、託児ボランティア13名、保健所5名 計61名	1 学習会 2 座談会

（3）ハイリスク児保健・医療連携事業

ア 医療依存度の高い在宅療養児生活支援研修会（検討会）

日 時	平成31年2月28日（木）18:30～20:30
場所、出席者	出雲保健所、66名
内 容	実務者での情報共有や連携強化を図るため研修と兼ねて開催した。 1）体験発表 「在宅療養生活、災害時の不安や備えていること」 2）情報提供 「災害時の対応への取り組み」 3）グループワーク・意見交換

イ 在宅療養支援ファイル等の活用に関する学習会

○島根大学医学部附属病院

- ・日時：平成30年7月10日（火）17:00～17:30
- ・会場：島根大学医学部附属病院
- ・参加者：約20名（医師、看護師等）
- ・内容：「在宅療養支援ファイルについて」

講師：島根県立大学看護栄養学部教授 矢田昭子氏

ウ ケースの支援会議、訪問等の実施

ケース支援会議 23件（延べ 34 回）

訪問指導 実人数34人（延べ78人） うち小児慢性特定疾患対象児11人（延べ32人）
 相談指導 実人員11人（延べ11人） うち小児慢性特定疾患対象児10人（延べ10人）
 連絡調整 実人員34人（延べ209人） うち小児慢性特定疾患対象児11人（延べ150人）

エ 医療依存度の高い在宅療養児親子交流会

日 時	平成30年9月22日（土）10:00～15:30
場 所	さざなみ学園

内 容	親子活動、療育活動、保護者の交流会（ハンドマッサージ）、ミニコンサート、プール活動
参加人数	家族3組（対象児3名、母2名、父1名、きょうだい2名、その他1名 計9名） 助言者2名、訪問看護師3名、関係機関22名、学生ボランティア2名、保健所6名 計44名

オ 情報提供のツールとしての在宅支援ファイルの随時更新と活用
 在宅支援ファイル活用件数 累計64件（新規12件）

（4）小児の事故予防対策

ア ネットワークの推進

（ア）小児の事故予防ネットワーク会議

開催日・場所	内 容	参加者
平成31年2月7日（木） 15:00～17:00 出雲保健所	1 これまでの主な取組の成果および平成30年度事業について 2 小児の事故実態調査 3 平成31年度の事業計画 5 その他	委員 7名 事故予防サポーター 5名 保健所 5名

（イ）小児の事故予防サポーター養成研修会（再教育を兼ねる）

- ・第1回 平成30年7月5日（木） 参加者13名
- ・第2回 平成30年8月28日（火） 参加者5名（内 修了者3名）
 ＊平成14～29年度の累積374名（内訳：施設270名・在宅94名・行政10名）

（ウ）サポーターの登録・交流会

a 小児の事故予防サポーターの登録

今年度登録は9名であった。

b サポーター交流会の開催

第1回 平成30年6月22日（金） 参加者：サポーター5名 市担当保健師

（エ）小児の事故事例の情報提供

- ・日本小児科学会の情報、消費者センターの発表、新聞記事等小児の事故事例について、サポーター及び市に情報提供を行った。

イ 小児の事故予防サポーター活動の推進

- ・小児の事故予防サポーターによる事故予防出前講座の実施(18回)

ウ 小児の事故予防に関する普及啓発

- ・小児の事故予防サポーターへ事件事例の情報提供
- ・啓発媒体の活用促進～小冊子・リーフレットの配布、啓発グッズやパネルの貸出し
- ・啓発用ポスターの活用
- ・乳幼児期の家庭へ向けた啓発

(5) 出雲圏域周産期医療体制検討会

ア 出雲圏域周産期医療体制検討会

	1 回目	2 回目
開催日	平成30年11月1日(火) 19:00～21:00	平成31年3月25日(月) 19:00～21:00
場所	出雲保健所	島根県立中央病院 小会議室
参加人数	島根大学・県中病院(産婦人科医師・小児医師・助産師・看護師)開業医、地域助産師、市、保健所等 19名	島根大学・県中病院(産婦人科医師・小児医師・助産師・看護師)開業医、地域助産師、市、保健所等 17名
内容	1 症例を通してメンタル面で支援が必要な妊産婦への支援について 講師：まつぎクリニック 松崎太志 院長 2 意見交換	1 報告 2 協議 妊婦の生活習慣と児の関連に関する調査について

イ 出雲圏域周産期看護連絡会

開催日	平成31年1月28日(月) 17:00～19:00
場所	出雲保健所
内容	1 周産期情報ファイルの更新について 2 出雲市の取組について 3 妊婦の生活習慣と児の関連についての調査について 4 協議 ～医療と地域の連携について～

ウ 出雲圏域周産期症例検討会

県立中央病院と島根大学医学部附属病院の産婦人科が交互に担当して開催

(6) 思春期保健対策

ア 思春期保健ネットワーク連絡会

開催日	平成30年8月23日(木) 15:00～17:00
場所	出雲保健所

内 容	1	今年度の事業進捗状況
	2	メディアに関する実態調査について
	3	来年度の方向性について

イ 実態把握

思春期メディアの使用に関するアンケート調査（モデル実施）

回収：子315件、保護者275件

ウ 思春期保健相談

電話相談 10件

エ 思春期保健教室 1件（窪田小学校 15名）

内容：思春期の心と体の変化について

オ その他

- ・思春期の性に関する専門相談窓口の把握
 - ・「出雲地域思春期のこころとからだの相談先（2019年度版）」情報更新
 - ・中学生に向けた啓発用リーフレットの配布、情報更新
- 配布数 18校 2,174枚

(7) 専門的母子保健相談

乳幼児突然死症候群（SIDS）の相談 0件

(8) 医療給付等

- ア 小児慢性特定疾病医療支援事業申請 251件
（内訳：新規 33件、更新 167件、変更等 51件）
- イ 特定不妊治療費助成申請（男性不妊検査費助成申請等を含む） 313件
- ウ 乳幼児等医療費助成に係る慢性呼吸器疾患等14疾患群の判定 0件
- エ 先天性代謝異常等検査要精密検査児の受診等の確認 件（延べ）
- オ 妊娠高血圧症候群等療養援護費申請 0件
- カ 受胎調節実地指導員指定申請 3件

8 その他

(1) 肝炎医療費助成事業

申請件数 310件

（内訳）新規 57件（インターフェロン 1件 インターフェロンフリー 39件 核酸アナログ 17件）

更新 222件

変更等 31件

(2) 肝がん・肝硬変治療研究促進事業

参加者証申請 1件

(3) 「石綿による健康被害の救済に関する法律」による健康被害の救済業務

○アスベストによる健康相談 …… 相談件数 2件

○石綿による健康被害救済認定申請… 申請件数 1件

(4) 「水俣病新救済策」に関する相談 0件

医事・難病支援課業務



医事・難病支援課

1 島根県保健医療計画の策定及び医療連携体制の構築

出雲地域保健医療対策会議において第7期保健医療計画の進行管理を行った。又、医療・介護連携専門部会を開催し、地域医療構想の実現と、誰もが希望する場所で療養できる医療体制の構築に向けた検討を行った。

(1) 出雲地域保健医療対策会議

開催日：平成31年3月25日（月） 14：00～16：00

・保健医療計画の進行管理

重点目標、及びその他の取組について

各機関、団体の取組について

(2) 医療・介護連携専門部会

<第1回>

開催日：平成30年6月19日（火） 19：00～21：00

・今年度部会の取組について

・実態把握のための調査について

・各機関の状況について

<第2回>

開催日：平成30年10月2日（火）

・患者動向調査の結果について

・各機関の状況について

<第3回>

開催日：平成31年2月25日（月） 19：00～21：00

・出雲圏域の病床数について

・地域包括ケア病棟の状況について報告

・老健、特養、診療所の実態調査について

・次年度第1回部会に向けた取組について

・新公立病院改革プラン、公的医療機関等改革プランと地域医療構想について

(3) 災害保健医療対策の推進

ア 出雲地域災害医療対策会議の開催

開催日：平成30年9月27日（木） 17：00～18：30

・圏域の災害医療体制について

イ 災害時等訓練への参加

・衛星電話通信訓練の実施（平成31年2月22日）

(4) 在宅医療対策（低栄養改善・食支援対策）の推進

ア 低栄養改善・食支援対策検討会の開催

<第1回>

開催日：平成30年7月23日（月）19：00～21：00

内 容：1. 出雲圏域における「低栄養改善・食支援」の現状と課題について
2. 今年度の取り組みについて

<第2回>

開催日：平成31年3月5日（火）19：00～21：00

内 容：1. 第1回検討会の振り返り
2. 今後の取り組みについて検討
（1）チェック表の活用
（2）低栄養改善・食支援のアセスメントに係る専門職派遣試行事業

イ 研修会の開催

開催日：平成30年12月6日（木）19：00～21：00

内 容：1. 行政説明
2. 講演「高齢者の低栄養・食支援を考える」
講師 岩崎歯科医院 院長 岩崎陽氏
3. グループワーク ～各地区での多職種連携をめざして～

2 医療の安全管理対策

（1）医療機関への立入検査の実施

医療法第25条第1項に基づき立入検査を実施した。

実施数と期間

- ・病院 11か所（平成30年9月～平成30年1月）
- ・有床診療所 4か所（平成30年12月～平成31年1月）
- ・無床診療所 31か所（平成30年6月～平成30年9月）

（2）医療安全相談窓口の設置

医療の安全と信頼を高め、医療機関における患者サービスの向上を図ることを目的に相談窓口を設置。医療に関する相談、苦情を受付必要に応じて医療機関への情報提供等実施。

・相談件数：30件（内医療機関へ情報提供等した事例は11件）

（3）医療法に基づく届出等

医療法に基づく届出、変更等の事務、医療機関の新規開設、施設構造設備変更に伴う現地確認を実施。

3 結核予防対策

（1）結核発生状況（平成30年1月1日～12月31日）

平成30年結核新規登録患者数は27人であり、昨年に比べ14人増加、9月に集団感染事例があり増加した。近年、外国籍の若年層患者の発生が増加傾向にある。

	活動性結核					(別掲)
	肺結核活動性				肺外結核 活動性	
	総数	喀痰塗抹陽性	その他の結核 菌陽性	菌陰性・ その他		
36	27	7	7	6	7	潜在性結核 感染症

(2) 結核部会開催数および診査件数

	開催数 (出雲保健所分のみ)	診査件数			
		18条	20条の1	20条の4	37条の2
定期	22	4	2	7	46
臨時	5	5	6	0	0
合計	27	9	8	7	46

(3) 結核従事者研修会の開催

出雲圏域の医師及び医療関係者を対象に、結核の鑑別診断の質の向上を図ることを目的に研修会を開催した。

開催日：平成30年10月19日（金） 19：30～21：00

場 所：出雲医師会館

内 容：①報告「出雲圏域の結核の状況について」

出雲保健所 企画員 塩野 恭次

②講演「出雲の結核から学ぶ～平成29年新規登録結核患者の症例報告～」

出雲保健所 医療専門幹 岡 達郎

(4) 結核患者の療養支援

ア 個別相談による支援

① 電話：延人員 255名

② 来所：延人員 46名

③ 訪問：延人員 255名（うちDOTS 199名）
/実人員 43名（うちDOTS 41名）

イ コホート検討会の開催

① 定例検討会 結核部会後に実施（第4水曜日）

検討対象者：延人員 198名 / 実人員 42名

検討回数：9回

平成29年治療成績19名確認（3月定例コホート検討時）

③ 結核患者支援関係者会の開催

日 時：平成30年3月8日（火）13：30～15：30

場 所：保健所大会議室

参加者：計17名（島根大学医学部附属病院、島根県立中央病院、出雲市立総合医療センター、出雲市民病院、雲南・県央保健所）

内 容：前年の振り返り、圏域の結核発生状況、結核患者が発生した際の必要書類と手続きと支援の流れについて、地域DOTS、事例紹介・課題等の検討

(5) 接触者に対する健康診断の実施

保健所実施数	X-P : 15件
	QFT : 125件
	ツ反 : 0件
委託医療機関実施数	XP30件、T-SPOT4件
環境保健公社実施数	0件
未受診になったケース	1件

(6) 精密検査の実施

保健所実施数	X-P : 10件
委託医療機関実施数	39件

(7) 結核菌分子疫学調査事業の実施

検査医依頼件数	
松江医療センター分	4件
県立中央病院分	3件

(8) 登録者の所属する集団等に対する衛生教育の実施

事業所において実施	
実施日	平成30年5月17日(木) 13:00~14:00
参加者	15名

4 難病対策

(1) 医療費の一部公費負担申請の受理、進達

- ア 特定医療費受給者証交付状況(平成31年2月末現在)
 - ・新規交付件数 214件
 - ・更新交付件数 1,383件
 - ・受給者証所持者数 1,504人 (うち2疾患受給者:20名)
- イ 在宅人工呼吸器使用特定疾患患者訪問看護治療研究事業 1件
- ウ 先天性血液凝固因子障害等治療研究事業 3件
- エ スモンに対するはり、きゅう及びマッサージ治療研究事業 1件
- オ 難病指定医新規指定 22件、指定医療機関新規指定 12件

(2) 在宅療養者への支援

- ア 患者家族への療養支援
 - 相談(電話・来所): 1,598件(延べ、申請時相談含む)
 - 家庭訪問: 57件(延べ)
 - ALS患者等のカンファレンス等への参加: 延べ12回(実人員 ALS他9名)
- イ 専門相談の実施
 - しまね難病相談支援センター主催による専門相談の紹介

ウ 患者、家族への支援、家族会の育成支援

項 目	開催日 (参加人数)	内 容
パーキンソン病	H30. 7. 29 (36人)	講演会 「パーキンソン病の最新治療について」 島根大学医学部附属病院 長井 篤 先生 意見交換
	H30. 10. 17 (14人)	「歌ってリハビリ、楽しく交流」 小村 圭子 氏 ・交流会
患者・家族会 つくしの会支 援	H30. 12. 11 (10人)	忘年のつどい マジックショウ、レクレーション
	4回 (延16人)	役員会 事業の運営等について
	1回	たよりの発行
眼科疾患	H30. 12. 10 (6人)	「ロービジョン外来について」 島根大学医学部附属病院 眼科 原 克典先生 ・見学、情報交換・交流
膠原病	H31. 3. 30 (19人)	講話： 「循環器病を予防する健康な生活」 島根県出雲保健所 牧野由美子所長 ・交流会
炎症性腸疾患	H30. 7. 22 (14人)	食事学習会 ・楽しく作って美味しく食べる」～体調に合わせた食事 の工夫～
	H31. 3. 3 (12人)	2回とも島根県立大学出雲キャンパス看護栄養学部と共 催で大学の調理室で実施 島根県立大学出雲キャンパス 健康栄養学科 教授 名和田清子 氏 助教 中川 忠彦 氏

エ 全県組織の患者家族会への参加、支援

- ・全国膠原病友の会島根県支部（総会）：5月20日（日）
- ・全国パーキンソン病友の会島根県支部（総会）：6月4日（日）
- ・全県的患者・家族交流会：平成30年10月9日（火）

オ 訪問指導事業（専門職による訪問事業）

- ・平成30年度は実績なし

カ 難病患者の意思伝達装置等の貸し出し事業

- ・購入前の試用や練習のための意思伝達装置等の貸し出しを行った。
貸出回数：伝の心4回、レッツチャット1回、入力装置3回

（3）人工呼吸器使用等の重症難病患者の療養支援

ア 出雲圏域難病対策地域協議会の開催

開催日：平成31年2月5日（火）19：00～21：00

場 所：出雲保健所 大会議室

出席者：委員（22）名

内 容：・圏域における難病対策の現状と課題

・保健医療計画出雲圏域編（難病等）について

イ 出雲圏域重症神経難病患者に係る介護支援専門員連絡会及び研修会の開催

開催日：平成30年6月27日（研修会）、7月17日、9月26日、11月20日

平成31年1月15日、3月19日 計6回

※連絡員を中心に企画運営を行った。

内 容：学習会、情報交換、多職種連携をめざした支援の実際、事例検討、松江圏域のケアマネとの交流、など

ウ 在宅重症難病患者一時入院支援事業の実施

内 容

- ・医療依存度の極めて高い在宅重症難病患者の介護を行う者の休養等のため、重症難病患者が医療機関に一時的に入院できるよう支援する。

管内委託医療機関数：6病院

実績件数：利用実人員 4名

受け入れ医療機関数 2（圏域内1機関、圏域外1機関）

エ 難病患者の災害時支援体制の構築

- ・災害時個別支援計画の策定支援（ケアマネを中心に策定）。策定患者数3名
- ・緊急時等受療シートについて訪問看護師が作成
- ・人工呼吸器装着患者の災害時対応訓練を実施。災害訓練実施数1名。
- ・非常用発電機の使用に関する研修会の実施（市及び保健所職員を対象）

（4）難病医療研修会の開催

開催日：平成30年6月27日（水）19：00～20：30

内 容：「パーキンソン病患者に対するリハビリテーションの基礎知識」

島根大学医学部附属病院リハビリテーション科 助教 酒井康生氏

「パーキンソン病のリハビリテーションの実際 ―実技編―」

島根大学医学部附属病院リハビリテーション部 PT 佐々木翔太氏

参加者：81名

（5）難病ボランティアの育成及び自主活動支援

ア 難病ボランティアサークル「ありんこ」への支援

○フォローアップ研修会の開催

開催日：平成30年7月10日（火）13：30～15：30

場 所：出雲保健所 大会議室

内 容：「わくわく どきどき 心地よく ～ 出逢いに感謝 ～」

講師：岩崎 巖 氏 参加者9名

○活動内容：総会、患者・家族会への支援（声掛け、機関誌発行等）

イ 在宅療養重症難病患者と学生ボランティアのコミュニケーション事業の実施

○活動状況

利用者：5名（神経難病等の在宅療養患者）

実施学生：島根県立大学出雲キャンパス 在宅ボランティアサークル在籍学生

島根大学医学部看護学科ボランティアサークル「えすこに」在籍学生

（6）しまね難病相談支援センターとの連携

難病相談支援センターは、難病患者等の相談支援、地域交流活動の促進及び就労支援等を行う拠点施設であり、患者等の様々なニーズに対応したきめ細やかな相談や支援が行われている。中でも、特に難病医療専門員と連携を図り、難病患者・家族の支援を行った。

5 肝炎対策

（1）肝炎検査・相談の実施

ア 肝炎相談 53件 （電話6件 来所47件、その他0件） （検査者を含む）

イ 無料検査件数 45件 : HBVのみ 0件

(7/29実施分含む) : HBV+HCV（核酸増幅検査実施） 0件

: HBV+HCV（核酸増幅検査不要） 44件

: HCVのみ（核酸増幅検査不要） 1件

ウ 世界肝炎デー休日無料検査の実施

島根大学市民講座と共催し実施

日時：H30年7月29日（日）12:00～13:00

場所：ニューウエルシティ出雲

検査数：6件

（2）肝がん等重症化予防事業

ア 出雲市と連携し、健診実施機関へ肝炎ウイルス検査陽性者の初回精密検査の受診勧奨依頼を行った。

イ 初回精密検査費用助成申請：件（うち2件は出雲市にてフォローアップ）

定期検査助成申請：人（実人員）

6 原爆被爆者対策

関係機関との連携を図りながら、医療機関との委託による健康診断及びがん検診を実施した。
（原爆被爆者手帳交付者数：平成30年度末82人）

（1）健康診断等の実施

ア 健康診断

実施時期：（前期）平成30年6月4日～7月31日

（後期）平成30年11月1日～12月14日

受診者数：（前期）55人

(後期) 45人

イ がん検診

実施時期：平成30年9月10日～12月14日

受診者数：5人（希望者5人）

ウ 住基ネットによる手当受給被爆者の生存の事実等の確認

実施日：平成31年2月21日

確認件数：36件

7 エイズ対策事業

(1) エイズ相談、検査の実施

相談件数 80件（検査者を含む）

検査件数 71件

(2) 普及啓発活動

ア HIV検査普及週間事業

・HIV即日検査実施：平成30年6月4日（月） 16:00～19:00

平成30年6月7日（木） 16:00～19:00

・検査件数：3件（(1)の検査数に含まれる）

・広報活動：出雲市広報、保健所ホームページ等

イ 世界エイズデー関連事業

・HIV即日検査実施：平成30年11月30日（金） 16:00～19:00

平成30年12月 3日（月） 16:00～19:00

・検査件数：5件（(1)の検査数に含まれる）

・広報活動：出雲市広報、保健所ホームページ、保健所内掲示物

ウ 個別施策層への啓発

・世界エイズデーにあわせ、管内専門学校3校に啓発資料配付

エイズ啓発リーフレット・エイズ検査周知パンフレット等320部配布

エ 学校等での啓発活動の支援・情報提供等

随時、島根県作成パンフレットの配布

(3) エイズ出張講座

・高等学校1校

実施日：平成31年2月14日（木）

参加者：153名

・中学校1校

実施日：平成31年2月7日（木）

参加者：29名

8 移植医療推進及び骨髄提供希望者登録推進事業

(1) 普及・啓発

ア 臓器移植推進月間啓発キャンペーンの実施

開催日：平成30年11月3日（日）

場 所：JAいずも農業まつりに協賛（JAいずも本店駐車場）

内 容：臓器移植等の啓発ポスター掲示、パンフレット及び風船やグッズの配布
イ パンフレット、ポスター配布、掲示

- ・ 出雲保健所の玄関・ホールに骨髄バンク推進のポスターの掲示及び啓発用チラシ・パンフレットを配置し、保健所ホームページに掲載
- ・ 出雲市（本庁、支所）にポスター及びパンフレットを配布

（2）骨髄ドナー登録窓口業務の開設

開設日：毎月第1・3月曜日 13：30～15：30 要予約制（原則）

登録件数 7件（平成30年4月～平成31年3月）

（3）献眼

知事感謝状の贈呈：3件

9 緩和ケア推進事業

（1）出雲圏域緩和ケア検討会の開催

開催日：平成31年2月20日（月）19：00～21：00

内 容：・ 圏域の緩和ケア推進状況について

（緩和ケア推進事業、各機関の取組状況、島根県医療用麻薬普及調査報告）

- ・ 緩和ケア提供体制の課題と今後の方向性

（病院から地域へのスムーズな連携体制、住民啓発について）

（2）人材の育成

ア 研修会の開催協力

- ・ 圏域内のがん診療連携拠点病院を中心に開催される研修会の周知等に協力

イ 緩和ケア従事者研修の開催

慢性期病院の緩和ケアに関する取組支援を目的に今年度から開催

開催日：平成31年3月11日（月） 14：00～15：00

場 所：寿生病院 6階 大会議室

参加者：75名

内容

- ・ 講演「緩和ケアを知る。使う。」

講 師：島根大学医学部附属病院

地域医療連携センター長 齊藤 洋司 氏

- ・ 意見交換「緩和ケアについて一緒に考えよう」

（3）普及啓発事業（住民向け）

一般住民向け座談会に医療介護連携事業として市と連携し実施

- ・ 平成30年5月25日 川跡長生会 参加者45名
- ・ 平成30年6月29日 伊波野コミセン更生保護婦人会 参加者20名
- ・ 平成30年7月21日 国富コミセンいきいき旅伏会 参加者30名

(4) 実態調査

目 的：患者・家族の緩和ケアに関する思いを聞き、病院から地域へスムーズな連携体制の状況や連携に関する課題を明らかにする。

実施時期：H31年1月から2月

対 象：訪問看護ステーションで事前に了解が得られた方で圏域内の緩和ケアを受けられた方の家族12名

方 法：保健所保健師による訪問聞き取り

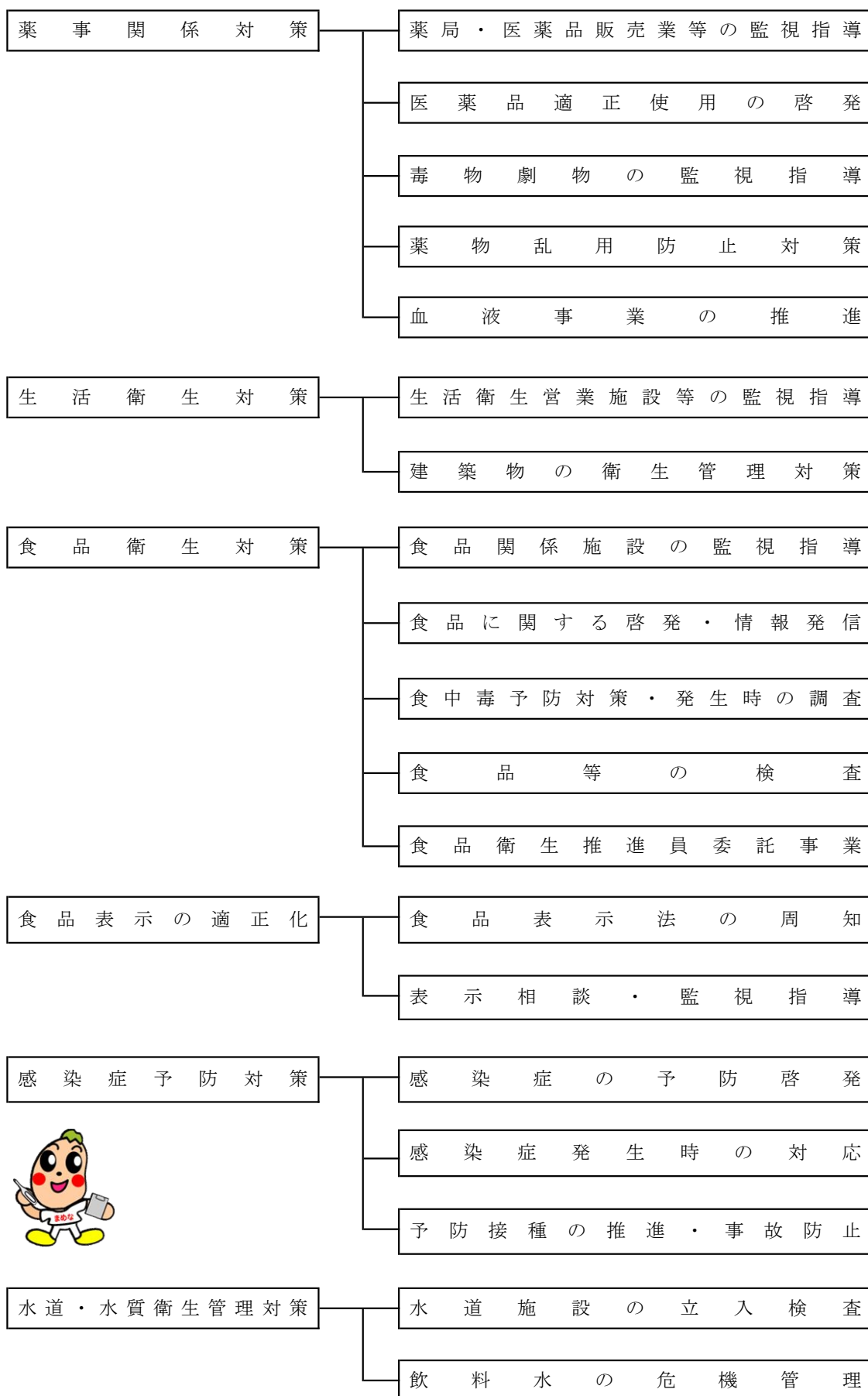
10 ハンセン病対策

(1) 普及・啓発事業

パンフレットの配置、啓発 DVD の貸し出し

ハンセン病に関する正しい知識の普及啓発を図るため、保健所のホールにパンフレット等を配置したり、地域の団体の研修のため啓発DVDの貸し出しを行った。

衛生指導課業務



衛生指導課

1 医薬品等安全対策の推進

(1) 薬局・医薬品販売業等の監視指導

薬局及び医薬品販売業者に対して立入検査を実施し、医薬品医療機器等法に基づき医薬品の適正な管理・販売について指導した。また、薬局においては薬剤師員数等の法令遵守を指導した。

○薬事関係施設数及び監視数

	薬局	医薬品販売業		医薬品等製造業			医療機器修理業	高度管理医療機器等販売業・貸与業
		卸売	店舗	製造業	製造販売	薬局製造販売		
施設数	83	11	48	13	1	2	11	100
監視数	55	11	13	0	0	1	3	17
違反件数	1	0	0	0	0	0	0	0

(2) 医薬品の適正使用の啓発

高齢化に伴い種々の疾患により複数の医療機関を受診する患者が多い。医薬品の併用による副作用等の事故を未然に防止するため、平成8年度から高齢者医薬品安全使用講座を開催しており、一般社団法人 島根県薬剤師会出雲支部と連携の上、継続して啓発を実施した。

開催回数 4回 83名

	開催日	受講対象者	会場	受講人数
1	12月4日	地域住民	中郷文化センター	23名
2	11月26日	地域住民	三葉文化センター	10名
3	1月15日	地域住民	高木会館	20名
4	2月14日	地域住民	大社コミュニティーセンター	30名

(3) 毒物劇物の監視指導

農薬危害防止運動期間(6～8月)を中心に、毒物劇物営業者に対し、保管管理の適正化について監視指導した。

○毒物劇物関係施設数及び監視数

	製造業	販売業		
		一般	農業用品目	特定品目
施設数	3	81	57	1
監視数	0	27	4	0
違反件数	0	0	0	0

(4) 薬物乱用防止対策

ア 普及啓発

「ダメ。ゼッタイ。」街頭キャンペーン

カブスカウト、ボーイスカウト、ライオンズクラブ、島根県薬剤師会出雲支部等82名が参加し、薬物乱用防止街頭キャンペーンを実施した。平成30年度はゆめタウン出雲にラピタの2店舗を加えた3か所の会場で訪れた住民の方々に薬物乱用防止のチラシやパンフレット800部を配布した。

実施日 平成30年6月24日（日）

会 場 ゆめタウン出雲 ラピタみなみ店 ラピタはまやま店

イ 麻薬・覚せい剤等取扱施設等に対する監視指導

麻薬、向精神薬及び覚せい剤原料取扱施設に対して監視を実施し、法律の遵守を指導した。また、麻薬の誤廃棄等の事案について調査及び再発防止の指導を行った。

○麻薬業務所（者）数及び監視数

	麻薬卸売業者	麻薬小売業者	麻薬診療施設				麻薬研究者（人）	合計
			病院	一般診療所	歯科診療所	動物診療施設		
施設数	4	79	10	64	0	6	8	171
監視数	8	44	25	1	0	0	0	78
事故件数	0	1	19	0	0	0	0	20
違反件数	0	2	0	0	0	0	0	2

○向精神薬取扱施設数及び監視数

	免許みなし卸売業者	免許みなし薬局	病院等				試験研究施設	合計
			病院	一般診療所	歯科診療所	動物診療施設		
施設数	11	83	11	169	64	33	3	374
監視数	2	18	11	0	0	0	0	31
事故件数	0	0	0	0	0	0	0	0
違反件数	0	0	0	0	0	0	0	0

○覚せい剤・覚せい剤原料取扱施設数及び監視数

	覚せい剤		覚せい剤原料					合計
	大臣指定施用機関	研究者	取扱者	研究者	薬局	病院・診療所	動物診療施設	
施設数	1	1	4	2	83	244	33	368
監視数	0	0	2	0	21	13	0	36
事故件数	0	0	0	0	0	0	0	0
違反件数	0	0	0	0	0	0	0	0

ウ 自生けしの抜き取り

自生けしの巡回パトロールを実施し、出雲市内7ヵ所、3,470本の自生けしを抜き取り焼却処分した。

(5) 血液事業の推進

少子高齢化により、血液製剤の使用量の増加が見込まれる一方で献血者数が年々減少している。市、赤十字血液センターと連携し、地域住民、職域団体等に対して献血の推進活動と献血思想の普及を図った。

○管内献血状況（3月末現在）

400ml 献血	目標本数	実績	目標達成率
出雲市	3,300	3,315	100.5%

2 生活衛生の推進

(1) 生活衛生関係営業施設への監視指導

ア 生活衛生関係営業施設に対して「生活衛生関係営業指導マニュアル」および「生活衛生関係営業立入監視票」を活用し、構造設備基準や衛生措置等が遵守されているか確認した。

○管内生活衛生関係営業施設数及び監視数

区 分		施設数	監視数
理 容	理容所	225	23
美 容	美容所	388	58
ク リ ー ニ ン グ	ク リ ー ニ ン グ 所	96	7
	(うち取次所)	69	2
	無店舗取次店	3	0
公衆浴場	公	一般公衆浴場	0
	営	その他	9
	私	一般公衆浴場	0
		個室付浴場	0
		ヘルスセンター	0
		サウナ風呂	0
		その他	16
旅館等	旅館・ホテル		75
	簡易宿所		28
	下宿		0
興行場	スポーツ		3
	映画館		1
	その他		3

イ これまで郵便や電話等で連絡が取れない理美容所に対して、現地調査等を行い、廃業している施設については、廃止届の手続きを説明し、廃止届の提出を促した。また、営業施設（建物）がすでにない場合には職権で廃止をおこなった。

ウ 衛生講習会等を実施し、生活衛生の向上及び確保を図った。

講習会等の名称	実施年月日	主催者	受講者
美容所の衛生管理	H30.5.7	島根県美容業生活衛生同業組合出雲支部	100

エ レジオネラ症対策

県中学総体、全国中学ホッケー大会等の受け入れを行う旅館・ホテルに対して、レジオネラ対策の重要性を周知し、注意喚起を図った。

5月に松江管内で発生し、潜伏期間内に利用した管内の公衆浴場について、行動調査をおこなった。レジオネラ菌の検出は見られなかったが、レジオネラ対策マニュアル等を配布するなど、防止指導を行った。

（2）建築物の衛生管理対策

ビル衛生管理登録事業者に対し、更新時の立入等において適正な業務管理の指導を行った。

○特定建築物届出件数及びビル衛生管理登録事業者数と監視指導数

	届出・登録件数	監視数
特定建築物	1	0
ビル衛生管理登録事業者	6	6

3 食品衛生対策の推進

（1）食品関係施設の監視指導

衛生指導課と食品衛生機動監視課で業務分担し、計画的に食品関係施設の立入監視を行い衛生管理の向上に努めた。

春と秋の営業許可更新にあわせて対象施設の監視を行い、施設基準の適合状況を確認するとともに、必要に応じて衛生管理について指導を行った。

春（5月）更新：205施設、秋（11月）更新：184施設

○営業許可施設数と監視指導数

	施設数	監視指導件数	行政処分結果			
			営業停止命令	営業禁止命令	施設改善命令	その他
飲食店営業	1,510	514	1			
菓子製造業	246	70				
乳処理業	1	3				
乳製品製造業	2	3				
魚介類販売業	270	84				
魚介類せり売り業	2	2				

魚肉ねり製品製造業	19	8				
食品の冷凍又は冷蔵業	9	8				
缶詰又はびん詰食品製造業	1	2				
喫茶店営業	251	67				
あん類製造業	3	2				
アイスクリーム類製造業	33	20				
乳類販売業	309	80				
食肉処理業	19	11				
食肉販売業	228	75				
食肉製品製造業	5	5				
食用油脂製造業	4	2				
みそ製造業	9	4				
しょう油製造業	11	8				
ソース類製造業	8	1				
酒類製造業	6	1				
豆腐製造業	8	5				
めん類製造業	29	10				
そうざい製造業	70	29				
添加物製造業	1	0				
清涼飲料水製造業	4	2				
氷雪製造業	1	0				
氷雪販売業	1	0				
許可施設 計	3,060	1,016	1			

○営業許可を要しない施設数と監視指導数

		施設数	監視指導 件数	行政処分結果			
				営業停止 命令	営業禁止 命令	施設改善 命令	その他
給 食 施 設	学校	7	23				
	病院・診療所	14	11				
	事業所	6	0				
	その他	138	4				
	乳さく取業	48	0				
	食品製造業	226	7				
	野菜・果物販売業	104	41				
	そうざい販売業	257	35				
	菓子販売業	328	50				
	他の食品販売業	559	48				
	添加物の製造業	3	0				
	添加物販売業	85	25				

器具・容器包装・玩具の製造または販売業	198	31				
許可不要施設 計	1,973	275				

(2) 食品に関する啓発・情報発信

食品の安全、安心について理解を深め、より一層の衛生管理意識向上のため、食品等事業者および一般消費者に対して衛生講習会、意見交換会、ホームページ及びチラシ配布等により知識の普及啓発を行った。

ア 食品等事業者への啓発

- ・食中毒の発生防止を図るため、食品営業者を対象とした地区別講習会、食品衛生責任者講習会並びに社会福祉施設等の給食従事者を対象とした衛生講習会を実施した。

営業者向け講習会の実施 43回（1,865名）

- ・営業者向けに、「ノロウイルス食中毒及び感染症予防について」の通知及びチラシ送付 1,463施設

イ 一般消費者への啓発

- ・消費者向け講習会の実施 3回（110名）
- ・食品衛生月間行事の一環として「こども手洗い教室」を実施

手洗い教室は、幼児でも理解できるよう「食品衛生協会著作のタベルマン劇」を導入し、手洗いの大切さを楽しく学んでもらった。さらに「手洗いチェッカー」による洗い残しの確認や手洗いポーズ等、正しい手洗いを指導した。

(3) 食中毒予防対策

ア ノロウイルス対策として飲食店や集団給食施設に対し注意喚起のためのチラシ送付を実施した。また、近年、鶏肉の生食を原因としたカンピロバクター食中毒が増加していることを受け、消費者に対してチラシやホームページを活用して注意喚起を行った。

イ クドア・セブテンブクタータやアニサキスなどの寄生虫による食中毒が増加していることから、各種講習会を通じて、事業者、消費者に対して予防対策等の啓発を行った。

ウ 生食用食肉、牛レバー等の取扱いについて、関係事業者へ法令の遵守するよう指導した。

エ 学校給食において異物混入が発生した際に、原因究明及び再発防止に必要な指導・助言を行った。

○平成30年度 管内食中毒発生状況 1件 患者3名

	発生年月日	患者数	原因物質	原因食品	原因施設
1	H30.6.16	3	カンピロバクター	飲食店の食事	飲食店

(4) 食品の検査

管内の製造業者の加工品等について食品の成分規格、添加物の使用基準、表示に関し、収去検査や現場での表示チェック等を実施した。成分規格違反食品については製造施設へ立入り、原因調査および再発防止の指導を行った。また、管内加工食品、管内生産農産物及び輸入農産物について残留有害物質検査を行い農薬、動物用医薬品等の残留実態の把握に努めた。

○収去検査検体数 73 件

- ・理化学検査：28件（内訳；添加物：12件、残留農薬検査等：16件）
- ・細菌検査：42件
- ・理化学検査・細菌検査：3件（内訳；添加物：2件、その他：1件）

（5）食品衛生推進員活動

管内では県が委嘱した115名の食品衛生推進員が、食品事業者に対し将来的なHACCP導入義務化に向けてHACCPの認知度、関心を調査した。また食品表示法への対応状況についての点検も実施し、未実施の施設に対しては導入を促した。

○食品衛生推進員立入施設

- ・立入調査施設：288施設
- 食品衛生推進員に対して研修会を開催（2回）し、グループ討議の実施等、推進員の資質向上に努めた。

4 食品表示の適正化

食品衛生法、JAS法、健康増進法の食品表示に係る規定を統合した食品表示法が、平成27年4月1日から施行されたことに伴い、食品等事業者に対し、講習会により食品表示法についての周知を図った。

また、食品事業者からの表示相談及び立入監視による不適正表示の指導により、適正表示の推進を図った。

- ・講習会実施件数：23件
- ・表示指導件数：102件

5 感染症予防対策の推進

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」及び「島根県感染症予防計画」に基づき、感染症発生時の体制を整備するとともに、感染症の発生・まん延防止を図るための啓発に努めた。

（1）感染症の予防啓発

ア 麻しん風しん対策

市を通じて麻しん風しん予防接種実施状況調査を行い、接種率等状況把握に努めた。

イ 講習会

社会福祉施設を中心に、介護士等を対象として講習会を実施し、感染症の予防に関する知識の普及啓発に努めた。（開催回数 7回 276名）

ウ 住民啓発

（ア）ダニ媒介感染症

啓発チラシを作成し、配布し、注意喚起を行った。

配布先：出雲市内のコミュニティセンター 43か所

飲食店営業者 5回、682部

また、ホームページでも啓発を行った。

(イ) インフルエンザ

インフルエンザ流行注意報、流行警報の発表の注意喚起を行った。

注意喚起方法：ホームページへの掲載、飲食店営業者へのチラシ配布（90部）、
学校等欠席者・感染症情報システムにコメント掲載

エ 感染症発生動向調査

指定届出医療機関からの定点報告（週報・月報）及び医師からの発生届（全数報告）により発生動向調査を実施するとともに、平成26年より導入された「感染症デイリーサーベイランスシステム（まめネット）」並びに「学校等欠席者・感染症情報収集システム」により感染症流行状況を把握し、欠席者システムのお知らせ欄にコメントを掲載して注意喚起を行った。（コメント掲載 30回）

(2) 感染症発生時の対応

ア 学校等欠席者・感染症情報収集システムのアラートメール等を受け、必要に応じて感染症集団発生施設への疫学調査及び感染拡大防止の衛生指導を実施した。（季節性インフルエンザ、感染性胃腸炎等 15件対応）

イ 感染症発生時に、疫学調査及びまん延防止の指導を実施した。（腸管出血性大腸菌感染症 O157、細菌性赤痢、日本紅斑熱、つつが虫病、E 型肝炎、デング熱、劇症型溶血性レンサ球菌感染症、後天性免疫不全症候群、アメーバ赤痢、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症、百日咳等 27例）

ウ 「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」における全数把握疾患の疑い例に対して、疫学調査や行政検査を実施した。（6件）

(3) 海外からの感染症侵入への準備

ア 蚊媒介感染症対策

黄熱の予防接種実施医療機関について、渡航者からの問い合わせに対応した。

イ 新型インフルエンザ対策

出雲圏域の発生期における帰国者・接触者外来を、島根県立中央病院、出雲市立総合医療センター、出雲徳洲会病院の3病院とし、体制を整備している。また、県内感染期における重症患者の入院病床について出雲圏域で51床確保している。

ウ 鳥インフルエンザ対策

(ア) 管内養鶏場における鳥インフルエンザ発生を想定した防疫作業従事者に対する健康調査について、所内対応訓練を5月に実施、8月に現地実地研修（主催：家畜防疫東部地区現地対策本部）を実施。

(イ) 平成30年3月16日付けで改正された「島根県内における鳥インフルエンザ発生時の保健所対応マニュアル」に基づき、出雲保健所内のマニュアルの改訂作業を行った。

エ エボラ出血熱対策

県防災航空管理所及び出雲市消防本部と連絡体制等を整備した。

(4) 感染症発生

○出雲保健所管内の全数把握 感染症発生状況（結核を除く）

類型	疾病名	26年度		27年度		28年度		29年度		30年度	
		患者	無症状 病原体 保有者	患者	無症状 病原体 保有者	患者	無症状 病原体 保有者	患者	無症状 病原体 保有者	患者	無症状 病原体 保有者
三類	細菌性赤痢									1	
	腸管出血性大腸菌感染症	1	2	5		3	2	3		7	6
四類	A型肝炎										
	E型肝炎			1				1			
	つつが虫病	1		2				2		1	
	デング熱			1				1			
	日本紅斑熱	3		6		11		4		5	
	重症熱性血小板減少症候群					1					
	日本脳炎					1					
	レジオネラ症	3		2		2				2	
	レプトスピラ症	1		2		1					
五類	アメーバ赤痢	2		2		1		1		1	
	ウイルス性肝炎(E型・A型除く)	1		1							
	カルバペネム耐性腸内	1		6		8		6		20	
	細菌科細菌感染症										
	侵襲性肺炎球菌感染症	5		11		17		15		12	
	クロイツフェルト・ヤコブ病	2		2				2			
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2		2				1		4	
	後天性免疫不全症候群	4		1						1	
	梅毒			2				2		3	
	破傷風	1		1		1		1		1	
	風しん										
	急性脳炎									1	
	播種性クリプトコックス症									1	
	侵襲性インフルエンザ菌感染症									1	
	先天性風しん症候群										
	百日咳							1		34	

(5) 予防接種対策

- ア 県民からの海外渡航前の予防接種に関する問い合わせ等に対し、情報提供を行なった。
- イ 医療機関からの予防接種に関する問い合わせに対し、情報提供を行なった。
- ウ 夏以降の全国的な風しん流行に伴い、ワクチンの流通情報等の情報を収集し、問い合わせ等で情報提供を行った。
- エ 2月4日から実施した風しん抗体検査に関し、出雲医師会の協力のもと管内医療機関に情報提供を行った。

6 水道・水質の衛生管理

(1) 水道施設の立入検査

「水道施設立入検査要領」に基づき立入監視を実施し、適正な管理について指導した。
小規模施設で施設修繕等の指摘があり、指導を行った。(指摘事項：4項目)

○管内水道施設 (H30.3.31 現在) ※国の所管

		施設数	立入数
出雲市	上水道	1 ※	0
	簡易水道	1	1

(2) 飲料水の危機管理

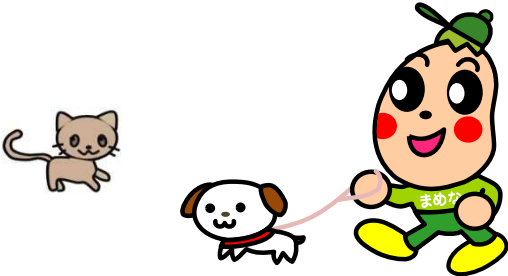
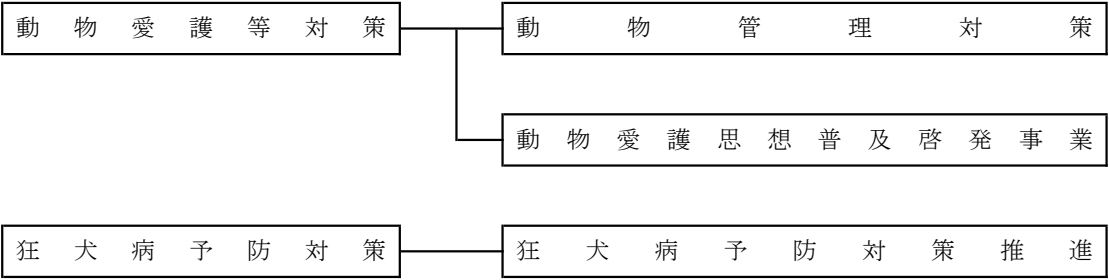
水質異常による断水等はなかった。

県西部地震により一部対応が生じたが、断減水等はなかった。関係機関と連携を取り被害状況等について迅速な報告ができた。

寒波による断減水等はなかった。

災害発生時に、被害状況等について迅速な報告等ができるよう、関係機関との連絡体制を整備し確認を行った。

動物管理課業務



動物管理課

1 動物保護管理対策

(1) 動物取扱施設への立入監視

管内のすべての動物取扱施設へ立入監視を実施し、うち11件について記録台帳や標識の掲示等について指導を行った。

第一種動物取扱業

	販売	保管	訓練	展示	貸出し	合計
登録件数	29	31	2	4	2	68
監視件数	31	33	3	4	2	73

第二種動物取扱業（立入後廃止施設あり）

	譲渡し	保管	訓練	展示	貸出し	合計
届出件数	3	2	0	7	0	11
監視件数	3	2	0	8	1	14

(2) 特定動物の適正飼養対策

特定動物飼養・保管施設への立入監視を実施した。

動物種	ワニガメ	ハクトウワシ	エラブウミヘビ	合計
飼養頭数	1	1	1	3
監視件数	1	1	1	3

(3) 動物管理対策

ア 動物の収容・措置

平成30年度は、犬猫の殺処分ゼロを達成した。これは、引取りを求める飼い主への説諭を徹底したことや、離乳前子猫等の一般譲渡不適動物のボランティア団体への譲渡によるものであり、今後も継続を目指す。

収容・措置状況（前年度から又は次年度への継続飼育あり）

	収容数						措置数				
	1項 引取	3項 引取	捕獲	負傷	移送	合計	返還	譲渡	収容中 死亡	殺処分	合計
犬	1	54	16	2	8	81	53	27	2	0	82
猫	0	43	—	20	3	66	2	45	20	0	67
合計	1	97	16	22	11	147	55	72	22	0	149

飼い主からの引取り相談状況

	飼い主からの引取り相談	
	説諭件数	引取り件数
犬	13	0
猫	15	0
合計	28	0

イ 動物管理センター等の管理

民間委託している動物の輸送、処分及び閉庁日における動物舎の清掃、給餌及び給水に対して、業務が適正に行われるよう指導監視を行った。

2 動物愛護思想の普及（動物愛護棟業務）

(1) 動物愛護啓発事業の実施

平成30年度は野良猫への安易な餌やり問題について、正しい知識を広く啓発することを目的とし、動物愛護週間に合わせ9月22日から28日に市内大型ショッピングセンターにおいて「動物愛護啓発展」を開催し、約200人が来場した。22日には、薬事衛生課及び県内動物愛護団体と合同で、住民からの相談対応及び啓発チラシの配布を実施した。

また、小学生等を対象とした動物愛護教室について、平成30年度は管内2か所から開催希望があり、島根県動物愛護棟ボランティアの協力のもと、命の大切さや動物との接し方についての講義・実演を行った。更に、1月16日に島根県立大社高校の1年生6名に対して、保健所における動物愛護行政の在り方等の講義を行った。

2月6日には、出雲市内すべてのコミュニティセンター43施設へ、適正飼育に関するポスターを配布し掲示を依頼した。

開催月日	場 所	対 象
10月12日	出雲市立須佐小学校	6年生 14名
2月18日	出雲市教育支援センター コスモス教室	中学2、3年生 3名

(2) 保健所収容動物の適正譲渡の推進

引取動物及び保護期間満了後の保護収容動物のうち、譲渡可能な動物についてはホームページでの写真公開や新聞広告への掲載、飼育希望者の事前登録、動物愛護団体との協働等により、積極的に譲渡を行い、収容動物の生存の機会を増やすように努めた。

譲渡可能動物は、混合ワクチン接種、駆虫薬投与、血液検査（犬フィラリア症、猫エイズ、猫白血病）等を実施し、ボランティアの協力を得て人への馴致を図った。

また、譲受希望者を対象とした譲渡前適正講習会は、17回開催し41組が受講した。

	一般譲渡数	団体譲渡数	合計
犬	23	4	27
猫	10	35	45
合 計	33	39	72

(3) 家庭飼育動物の譲渡情報提供サービス

一般住民からの犬猫の譲渡希望が5件、譲受希望が3件あった。その中で、犬の譲受希望者へ譲渡希望者を紹介し、3件の譲渡が実現した。

(4) 所有者不明子猫の引取り実態調査

所有者不明子猫の引取り申請があった地域のうち、無責任な餌やり等が判明した重点対策地域について現地調査を実施し、平成28年度と比べて猫の数が減少している

ことを確認した。

(5) 地域猫活動事業の推進

飼い主のいない猫が増えた地域において環境侵害の軽減を図るため、県では平成24年度から地域猫事業をスタートさせた。平成30年度は、松江保健所管内の1地域において新たに開始した。

	保護数	手術数	リリース数
平成30年度	82	79	82
平成24年度からの累計	295	280	288

(6) 犬及び猫の苦情に対する迅速な対応

放れた犬の苦情に対し迅速に対応し、危害の発生防止に努めた。また、飼い犬の放し飼いや猫の無責任な餌やり等の苦情に対し、犬及び猫の正しい飼養管理について指導・啓発を行った。

猫の苦情については、平成30年度からガーデンバリアの貸出事例についても苦情として計上し、対応した。

犬に関する苦情件数

野犬	放飼	鳴声	臭気	迷犬	失踪	その他	合計
9	7	2	0	28	52	7	105

猫に関する苦情件数

糞尿	鳴声	家屋侵入	餌やり	迷猫	失踪	その他	合計
18	2	8	17	6	74	47	172

3 狂犬病予防対策

(1) 飼い犬の登録と狂犬病予防注射の推進

市が実施する飼い犬の登録と狂犬病予防注射が円滑に進むよう、市等関係機関と連携し、イベント等において啓発を行った。管内の狂犬病予防注射の接種率は69.7%であった。

<出雲市>

登録頭数（期末現在）

8,679頭

狂犬病予防注射頭数

6,052頭

接種率

69.7%

(2) 所有者明示の普及・推進

当所に収容した犬や猫がすみやかに飼い主の元へ帰れるよう、所有者明示（鑑札、注射済票、迷子札、マイクロチップ等の装着）について、出雲市や動物愛護団体等の関係機関と連携し普及・推進を図った。平成30年度狂犬病予防注射済票装着促進事業へ参加し、集合注射会場2カ所（出雲市役所第2駐車場、出雲市役所平田支所）にて鑑札、注射済票及び迷子札の装着について啓発を行った。

環境保全課業務

大気環境の保全対策	- 大気環境の常時監視 - 固定発生源対策 - アスベスト対策 - オゾン層保護対策 - 航空機騒音に係る環境基準監視
水環境の保全対策	- 水質環境基準の監視 - 工場・事業場排水の監視 - ゴルフ場農薬等流出モニタリング調査 - 湖沼等水質保全対策 - 温泉（泉源）の保護と適正利用
土壌環境の保全対策	土壌汚染防止対策
環境保全意識の普及・啓発	普及啓発事業への参加
廃棄物の減量化・有効利用対策	- しまねエコショップ認定事業 - 各種リサイクル法の啓発指導
 廃棄物の適正処理対策	- 一般廃棄物処理施設の監視指導 - 産業廃棄物処理施設の監視指導 - 廃棄物の不法投棄対策 - 産業廃棄物の排出事業者・処理業者の監視指導 - P C B 廃棄物の適正処理指導 - 使用済自動車の処理に関する監視指導
ダイオキシン類対策	基準適用施設等の監視
浄化槽の適正維持管理対策	- 浄化槽管理者等の指導 - 浄化槽適正管理の啓発

環境保全課

1 大気環境の保全対策

(1) 大気環境の常時監視

平成10年に設置した「出雲保健所測定局」で、窒素酸化物・浮遊粒子状物質・光化学オキシダント等の常時監視を行った。また、平成25年度から新たに微小粒子状物質（PM2.5）の監視を行っている。

平成28年度においては、環境基準が設定されている項目（二酸化窒素、浮遊粒子状物質、光化学オキシダント）のうち、光化学オキシダントは環境基準非達成であったが、他の項目は環境基準を達成していた。

(2) 固定発生源対策

大気汚染防止法に基づき、施設の適正管理について指導を行った。

◇ばい煙発生施設届出状況 655 施設

ボイラー	溶解炉	焼成炉	乾燥炉	廃棄物焼却炉	ディーゼル機関	ガスタービン	その他
170	29	378	15	4	39	11	9

◇水銀排出施設届出状況 4 施設

(3) アスベスト対策

大気汚染防止法に基づく特定粉じん排出等作業届出のあった2作業場について立入検査を行い、アスベストの飛散防止について監視指導を行った。

(4) オゾン層保護対策

第一種フロン類充填回収業者21業者について、フロン回収破壊法に基づく登録事務とフロン類の適正処理の監視指導を行った。

(5) 航空機騒音に係る環境基準監視

出雲空港周辺2か所(定点、補点)で年4回(1週間、24時間連続測定)航空機騒音の測定を実施した。平成29年度は、いずれも環境基準を達成していた。

2 水環境の保全対策

(1) 水質環境基準の監視

神戸川2地点、神西湖2地点、おわし海水浴場1地点で環境基準の達成状況を調査した。平成29年度は、神戸川及びおわし海水浴場水域では環境基準を達成していたが、神西湖は環境基準非達成であった。

地下水については、所原町において環境基準の監視調査を行い、全項目で環境基準を達成していた。

6水浴場(主要海水浴場2か所、その他海水浴場4か所)で遊泳適否調査を行い、6か所いずれも遊泳適であった。

(2) 工場・事業場排水の監視

水質汚濁防止法に基づき、特定事業場18事業場について立入検査を実施し、排水基準の遵守と施設の適正管理について指導した。

◇特定施設届出状況 627 事業場

うち水質基準規制対象事業場 74 事業場

し尿処理施設	下水道終末処理場	旅館業	その他の施設
47	4	7	21

(3) ゴルフ場農薬等流出モニタリング調査

島根ゴルフ倶楽部において、農薬等の流出モニタリング調査を行った。いずれの項目も農薬指導指針値以下であった。

(4) 湖沼等水質保全対策

水質汚濁防止連絡協議会（斐伊川水系、島根県）においては、水質汚濁事故対策の協議・情報交換を行ったり、水質汚濁現場において水質調査や対応に関する助言等を行った。

また、神西湖に流入する4河川の水質実態把握調査（6回／年）を行った。いずれの項目も例年と概ね同程度であった。

(5) 温泉（泉源）の保護と適正利用

各温泉源について、助言・指導を行った。

◇温泉掘削許可申請 1件

◇温泉利用許可申請 2件

（新規 2件（うち、市→民間譲渡 2件））

3 土壤環境の保全対策

土壤汚染対策法第4条に基づく土地形質変更に関する届出事務のほか、土壤汚染に関する情報提供（規制区域の有無、水質汚濁防止法に係る有害物質使用特定施設の設置の有無）を行った。

◇土壤汚染対策法第4条に基づく届出件数 17件

4 環境保全意識の普及・啓発

県民向け3R普及啓発事業として、管内のイベントに出展される島根県ブースでの活動に参加し、3Rについての普及啓発を行った。

◇参加イベント いずも産業未来博 2018

5 廃棄物の減量化・有効利用対策

建設リサイクル法、家電リサイクル法、食品リサイクル法等の各種リサイクル法の啓発指導を行った。

なお、「しまねエコショップ」認定制度については、制度変更のため平成30年度中に廃止され、新たに「しまエコショップ」登録制度が開始された。「しまエコショップ」制度はこれまでの「ごみ減量・再生利用」だけでなく、省エネ・省資源及び環境配慮方経営など、環境に

やさしい取組に対して幅広く登録する制度となっている。(環境政策課直営事業)

6 廃棄物の適正処理対策

(1) 一般廃棄物処理施設の監視指導

廃棄物処理法に基づき、一般廃棄物処理施設2施設の立入検査等を実施し適正な維持管理を指導した。

◇一般廃棄物処理施設等設置状況 26施設

最終処分場	焼却施設	破碎施設	し尿処理施設	その他の施設
5	2	12	3	4

(2) 産業廃棄物処理施設の指導監視

廃棄物処理法に基づき、産業廃棄物処理施設5施設の立入検査等を実施し適正な維持管理を指導した。

◇産業廃棄物処理施設設置状況

中間処理施設 (37施設)	廃油油水分離施設(1)、 廃プラ破碎施設(3)、 廃プラ焼却施設(1) 木くず破碎施設(9)、 がれき類破碎施設(21)、 産業廃棄物焼却施設(1)
最終処分場 (4施設)	安定型(2)、 管理型(2)

(3) 廃棄物の不法投棄対策

不法投棄防止重点監視地域に指定した「主要地方道斐川一畑大社線(出雲市河下町・猪目町地内)」の地域住民(2名)に監視モニターを委嘱し、モニターによる重点監視地域の定期パトロール等を実施した。また、当該地域において、新たに監視カメラを設置するとともに、監視モニター及び関係機関(出雲市、島根県産業廃棄物協会出雲支部、出雲警察署、出雲保健所)により合同パトロール(2回)・不法投棄物の撤去を行った。

◇啓発用看板および監視カメラの設置状況(平成30年度末時点)

啓発用看板 12枚、 監視カメラ 9台

(4) 産業廃棄物の排出事業者・処理業者等の監視指導

廃棄物処理法に基づき、産業廃棄物排出事業者48業者に立入検査等を実施した。

積替え保管の許可を有する産業廃棄物収集運搬業者7業者及び処分業者9業者に対し立入検査等を実施し、産業廃棄物の適正処理について指導した。

◇産業廃棄物処理業者数

	収集運搬業	中間処理業	最終処分業
業者数	232	30	3

(5) PCB 廃棄物の適正処理指導

PCB 廃棄物保管事業者に対し、保管状況届出時に適正な保管・処理を指導した。また、高濃度 PCB 廃棄物については期限内処理(※)を完了させるため、該当事業者へ強く指導した。高濃度 PCB 廃棄物であるトランス・コンデンサ類については、処理完了期限から1年後の「特例処分期限日」を平成31年3月31日に迎え、これ以降は処理することが出来なくなったが、この日までに、管内で保管されていたも

のは全て処理を完了した。高濃度 PCB 使用安定器については、期限内処理（※）の完了に向け、掘り起こし調査の準備が進められた。

※高濃度 PCB 処理完了期限（JESCO 北九州事業所）

トランス・コンデンサ類：H30 年 3 月末 安定器：H33 年 3 月末

◇PCB 保管状況届出の届出数（廃棄処分届出含む）

51 事業場（内、廃棄処分届提出事業場数 7）

（6）使用済自動車の処理に関する監視指導

使用済自動車の引取業およびフロン回収業の登録事務のほか、解体業者や破砕業者に対して使用済み自動車の適正処理に関する指導を行った。

◇自動車リサイクル法関係業者数（平成30年度末）

引取業登録業 110 フロン回収業 9 解体業 3 破砕業 1

7 ダイオキシン類対策

ダイオキシン類対策特別措置法に基づき、特定施設に係る監視指導を行った。

◇特定施設届出状況

廃棄物焼却炉 10 施設（内、水質基準対象施設 3）

8 浄化槽の適正維持管理対策

浄化槽新規設置者を対象とした講習会（島根県浄化槽協会、島根県浄化槽普及管理センター主催）へ講師として参加し、浄化槽の適正管理について講義を行った。

法定検査で適正と判定されなかった浄化槽（25 施設）の管理者に対しては、立入検査を実施し適正管理について指導を行った。

◇浄化槽設置基数（平成31年3月31日現在）

16,888 基（うち平成30年度の新規設置届出数 375 基）

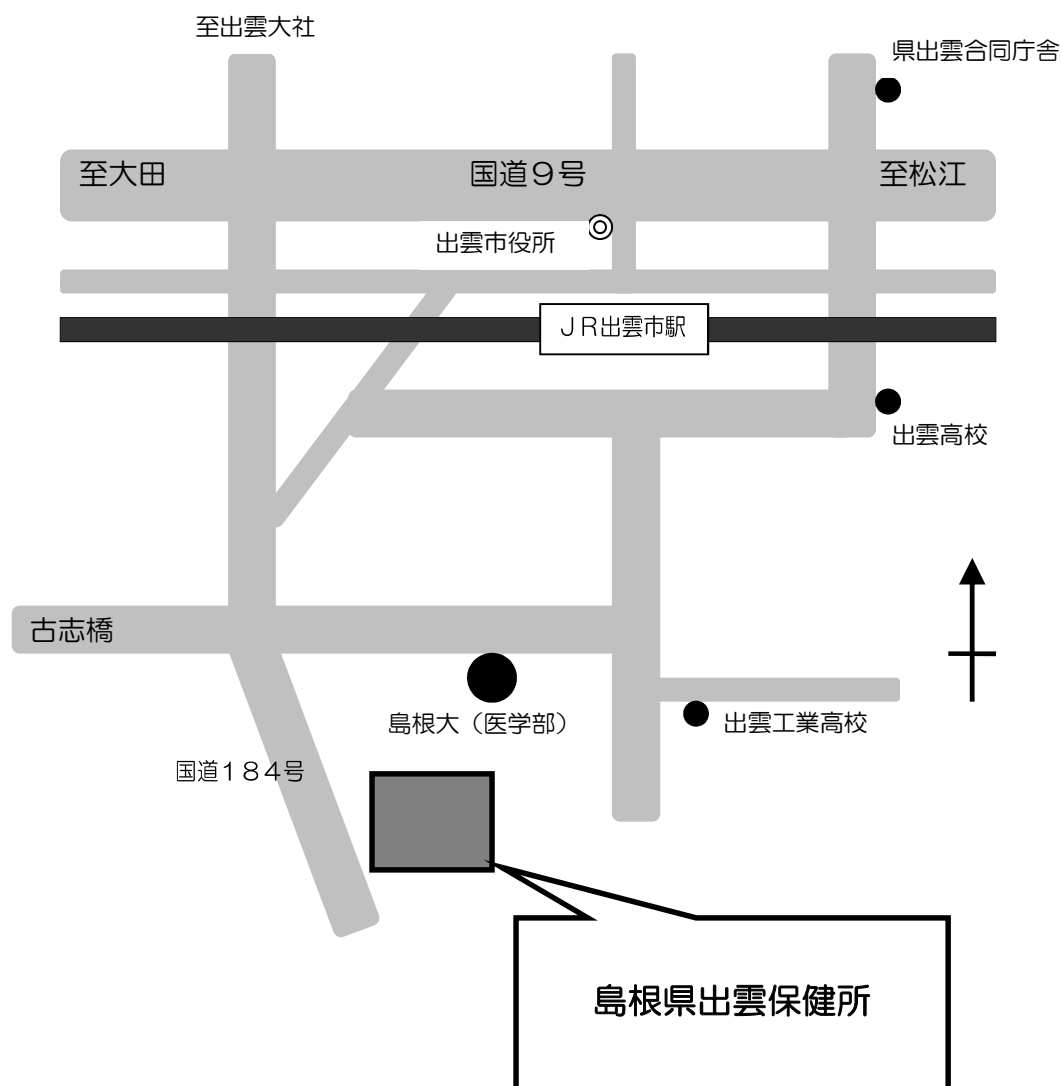
◇10 人槽以下みなし浄化槽の浄化槽法第11条検査の受検率（平成30年度実勢）

64.7 % （※島根県浄化槽普及管理センターより）

9 公害苦情等の対応

苦情等の内容は次のとおり

大気関係	4 件、水質汚濁	0 件、悪臭関係	7 件	
騒音振動関係	0 件、廃棄物	3 件	浄化槽	0 件
			合計	14 件



すこやかライフ

令和元年度事業概要書

令和元年5月発行 編集・発行 島根県出雲保健所

〒693-0021 出雲市塩冶町223-1

TEL (0853) 21-1190(代)

FAX (0853) 21-7428

Mailto: izumo-hc@pref.shimane.lg.jp

ホームページ URL

http://www.pref.shimane.lg.jp/izumo_hoken/